発行所 東京都新宿区左門町11番地6の101
〒160－0017
社団法人　大学婦人協会
電　話　03－3358－2882
ＦＡＸ　03－3358－2889
http://www3.tky.3web.ne.jp/~jauw/
郵便振替 00150－7－173434
編集兼発行人 鷲崎千春
発行日　平成13年6月20日

JAUW

おもな記事

1面　会長あいさつ，第44回通常総会議事録
2面　全国セミナーのお知らせ，総会開催支部報告　国際奨学生報告会，支部長名簿
3～7面　2000年度事業報告，2001年度事業計画
8～9面　守田科学研究奨励賞論文概要，支部だより，本部委員会名簿，新入会員名簿，守田科学研究奨励賞・国内奨学生募集要項，国庫補助事業決算報告
10面　2000年度決算報告，2001年度予算

第44回通常総会特集

ITを活用して　本部と支部との連携を強める

第44回通常総会が、9年ぶりに東京で開催された。225名の多数の出席者のもと、本部と支部との直結した活動を求めて、ホームページの活用、支部への発信など活発に意見が交換された。報告・審議された内容は次のとおりである。

社団法人　大学婦人協会　第44回通常総会議事録

日　時　二〇〇一年四月一日（日）　9時～16時
場　所　アルカディア市ヶ谷　私学会館（東京）
出席者　二二五名　委任状　八六八名　計一、〇九三名
出席支部　札幌・函館・秋田・仙台・福島・新潟・茨城・栃木・群馬・長野・東京・神奈川・静岡・愛知・岐阜・金沢・福井・京都・奈良・大阪・神戸・岡山・広島・大分・熊本・福岡・長崎　以上27支部
欠席支部　小樽・山口・愛媛・高知・鹿児島　以上5支部

《午前の部》

司会　副会長　加藤　恭子

会議開始

総会成立確認
書記　関口　瑞穂
定款第5章第32条に基づき、正会員1735名の⅙（347名）以上の出席（委任状提出者を含む）により、総会が成立することを確認する。

開会の辞
会長　山本　和代

黙　禱
逝去会員9名のご冥福を祈って、一同起立、黙禱。

議長承認
定款第5章第29条により、山本和代会長が議長となる。　**承認**

書記選出
本　部　関口　瑞穂・百束　礼子
東京支部　岩田　玲子・木村　和子　**承認**

報　告

1. **総　務**
書記　百束　礼子
「2000年度事業報告」参照

2. **委員会**　各委員長
「2000年度事業報告」参照
国内NGO委員会報告の追加
2／26　児童の性的搾取に関するシンポジウム
第2回世界会議に向けての準備会議が、京都で開かれ房野桂氏が出席
2／14～2／18　マニラで開催された第1回アジア太平洋リプロダクティブ・ヘルス会議に、連絡会より房野桂氏が出席
3／6～3／17　ニューヨークの女性の地位委員会に連絡会の国際部担当として、房野桂氏が出席
3／21　連絡会常任委員会に山本会長が出席
内閣府より「女性に対する暴力を無くす運動」の期間を、2001年より11／12～11／25とするとの連絡があった。

3. **国庫補助事業（JAUW全国セミナー）**
企画第一委員長　杉森　長子
「2000年度事業報告」企画第一委員会の項参照

4. **支　部**　各支部長
「2000年度事業報告」参照

5. **前記1.～4.の「2000年度事業報告」について**　**承認**

《午後の部》

6. **会　計**

A. **一般会計**
会計　江口　昌子
2000年度収支決算並びに資産状況
「2000年度収支決算報告書及び貸借対照表」参照

B. **特別会計**
会計　中山　正子
国庫補助事業収支報告
「平成12年度国庫補助事業特別会計収支決算報告」参照

監査報告
監事　根岸　愛子
3月27日、本部事務所において監事2名が、本協会の一般会計2000年4月1日より2001年3月22日までの収支決算報告、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書について元帳・各種領収書・預金通帳及び現金と照合して監査を行った。その結果、資産の管理・運用、会計の処理・記帳ともに適正に記載され間違いのないことを確認したので報告する。
また、同日平成12年度（2000年度）国庫補助事業特別会計についても同様に監査し、その結果、会計の処理・記帳ともに適正に記載され間違いのないことを確認したので報告する。

一般会計、特別会計について　**承認**

審　議

1. **2001年度事業計画案**

A. **委員会**　各委員長
「2001年度事業計画」参照
会場より、JAUW会報の大きさを保存しやすいように考慮してほしい、総会出席者名簿の支部をアイウエオ順ではなく地域順にしてほしい、会員のメーリング・リストを開設してほしいなどの要望が出された。今後検討していくこととする。
教育委員会に対して、予定している調査を支部でも行いたいので、情報を早く送付して欲しいとの要望があった。
低年齢の子どもを対象にしたアニメ番組の調査だけではなく、中・高校生を対象に、IT情報がもたらす弊害などの調査を行ってほしいなどの意見が出された。

B. **支　部**　各支部長
「2001年度事業計画」参照
福井支部追加
タイのドゥアン・プラティープ財団の里親になることを最初のステップとして支部活動を始めたい。
議長は2001年度事業計画について承認を求めた。　**承認**

2. **2001年度予算案（会報201号参照）**
財務委員長　藤谷　文子
長引く超低金利による利息収入の減少のため、予算の削減をせざるをえない。事業基金への繰り入れは見送ることとしたい。なお、正会員会費収入の項の「1750口」を「1700口」に訂正していただきたい。
議長は2001年度予算案について承認を求めた。　**承認**

懇　談

1. **2001年度国庫補助事業について**
司会　加藤　恭子
杉森　長子
平成13年度のセミナーについては、「21世紀、男女共同参画社会におけるエンパワーメントのストラテジー、教育の視点から」と題し（仮題）、文部科学省に事業計画書を提出してある。
過去3年間に亘って行ってきた「女性のエンパワーメント－男女共同参画社会の確立をめざして」をテーマとする調査・研究によって、女性のエンパワーメントの問題点が明らかになってきたと考えられる。2000年度のセミナーでは、エンパワーメントのストラテジーについての取り組みもなされたが、今年度はさらに具体的なストラテジーを研究、実施し、その成果を示したい。
昨年度のセミナーで行った「**決議事項（JAUWとして取り組むべき課題と方策）を、いかにフォローアップしたか、また、していくか**」などを考えることによって、ストラテジーを一層効果的なものとしたい。
なお、今年度のセミナー発表申し込み及び予算書の提出期限を、文部科学省に提出する関係上、6月15日としたい。
会場よりセミナーのテーマはIFUWのテーマと同じか、また1年限りのテーマかなどの質問があり、これに対し、テーマはIFUWと合致しているし、期限も1年とは限らないとの回答がなされた。
カタカナ（外来語）書きが多いが、日本語に適訳できないかという意見、また言葉の本質的な意味を理解しながらそのまま使用した方が良いという意見などが出され、今後の課題となった。

2. **第27回IFUW総会について**
国際委員長　平野　和子
○青木怜子IFUW第一副会長をIFUW会長に推薦しているが、他にナイジェリアのクララ・オシヌル氏が立候補している。投票権を持つ代議員は日本は会員数から割り出して7名である。
○房野桂IFUW会員会委員を女性の地位委員会委員に推薦している。立候補者は13名で、投票権を持つのは各国CIR（JAUWでは国際委員長）である。
○JAUWから全国セミナーの決議を集約し決議案として提出した。
○若手会員研究グループによるワークショップも出される。

3. **その他**
各支部の情報を本部のホームページに入れ、**会員がJAUW全体の情報にアクセスできるように**していただきたいとの要望が会場より出された。

次期総会開催地について
山本　和代
第45回総会は、2002年4月13日、4月14日、神戸において開催する。

次期総会開催承諾の挨拶
神戸支部長　加藤　啓子

開催地支部長挨拶
東京支部長　坂上栄美子

謝　辞
奈良支部長　水上　戴子

閉会の辞
副会長　杉森　長子
前記の点を明確にするためにこの議事録を作成し、議長及び出席者代表2名が署名押印する。
2001年4月1日
社団法人　大学婦人協会
総会
議長（会長）　山本　和代
署名人　関口　瑞穂
署名人　百束　礼子

総会を終えて
―互いの力を引き出し合って―

会長　山本和代

〝冬来たりなば春遠からじ〟今年の全国総会は雪空から一転し、春らんまんの東京で開催されました。一年一度の出会いの時、北から南から日頃の学習・活動の成果を持ち寄って交流ができたことは大きな喜びでした。
冬の寒さが厳しいほど桜の開花も早まるとは、気象予報士の森田さんの言ですが、困難な状況に立ち向かい、高齢者問題に積極的に取り組んでいこうとする支部、〝一人〟からの再出発を期しはじめ、歴代会長がお元気な顔を揃え、力強い励ましをいただきました。自宅を開放され、高齢者の豊かな人生・生きがいづくりに医師としてなお現役でご活躍の山崎倫子先生のお話に勇気づけられた会員も多かったことでしょう。竹中はる子先生は、1977年、国立婦人教育会館（当時）の設立に当たって、その推進役として、婦人団体のまとめ役として大学婦人協会が果たした役割に言及され、会館との繋がりの深さを、歴史の重みを改めて認識することができました。
来賓としてお迎えした大野曜館長も私たちの活動を高く評価され、今後を期待しているとエールを送ってくださいました。総会当日の4月1日から独立行政法人国立女性教育会館として再出発し、同氏が初代理事長に就任されるということも嬉しいニュースでした。
懇親会には2000年度の国際奨学生、タイのラカンオーラン・パトゥンポンさんも九州から駆けつけ、報告会で研究の一端を紹介してくださいました。国内外のスカラシップや科学研究奨励賞を受けて勉学、研究に励む若い方がたもその数を増しています。各国からの留学生を支え、共に学び合う会員たちの輪も広がってきています。
総会後の「カナダの夕べ」では大川美雄元カナダ大使ご夫妻をお招きし、レクチャーをしていただいてカナダへの理解と親しみを深めることができました。今夏、カナダ＝オタワで開催される第27回IFUW総会では、私たちが3年間にわたって積み上げてきた全国セミナーの成果が決議の一つとして取り上げられます。また、次期IFUW会長候補に青木怜子現IFUW第一副会長を、同女性の地位委員会委員候補に房野桂現IFUW会員委員会委員をJAUWから推薦しております。国際的な連帯のなかで日本への期待と責任が一段と高まってきています。このことを重荷とすることなく私たちの活動の発展として、国際貢献の好機として捉え、バックアップしていきたいと願っています。
今回の総会で確かめ合った会員同士の繋がりを一層強め、互いの力を引き出し合い、活用し合って歩みを進めてまいりましょう。
ている支部など、会員相互の一体感のなかで新たな花を咲かせようとする動きが見られたことも嬉しいことでした。
今回、私が特に意を強くしたのは熱意をもって活動に取り組む会員層の厚さであり、すぐれたタレントをもつ多くの会員を擁していることを再確認できたことでした。これはJAUWがその存在をかけて築いてきた力でもあると思います。
懇親会には高野フミ元IFUW会長

一部文字が大きくなりました

1面会長あいさつ、2面全国セミナーお知らせ、通常総会開催支部報告、国際奨学生報告会、8面守田科学研究奨励賞論文等をご覧下さい。

≪ＪＡＵＷ2001年度全国セミナー≫

21世紀、男女共同参画社会の確立をめざす エンパワーメントのストラテジー

―全国セミナーにおける決議事項のフォローアップ―

日　時　10月13日(土)、14日(日)

場　所　独立行政法人　国立女性教育会館

形式　(1) 調査研究の発表と討論　(2) シンポジウム
(3) 分　科　会　(4) 全体討議

第44回通常総会 開催支部報告

東京支部長　坂　上　栄美子

第44回通常総会は、満開の桜に雪という3月末日から始まりました。

東京支部主催の部分に限り、あらましをご報告します。

今年の支部長懇談会は、支部長のみと、理事を交えてとの二部制にしました。出席の27支部長の懇談では、支部活性化のための努力や工夫を話し合い、悩み多い支部長同士、お互いにエールを送りあいました。インターネットを使った情報交換の方策が、課題として残りました。理事を交えての懇談では、本部支部双方からの要望や提案が話し合われ、本部と支部の強い絆を望む声に、一同頷きあいました。

本部と支部との強い絆を望む

夜の懇親会には、セミナー会場としてお世話になっている国立女性教育会館館長の大野曜氏を、来賓としてお招きしました。また、1976年度から1997年度までの歴代会長6人と高野フミ元IFUW会長を、皆様にご紹介しました。お若く生き生きとご活躍の7人のお姿に、「この会にいれば、素敵に年を重ねられそう」と、後輩たちは励まされました。眞理ヨシコさんと一緒に懐かしい童謡を歌い、ヨシコさんと小学校の同級生という会員のリクエストで、「愛の讃歌」を熱唱していただきました。

翌4月1日は総会。(本部の報告をご覧下さい)総会の夜は、8月のオタワ会議に向けてのレクチャーで、青木怜子IFUW第一副会長からのオタワ会議の説明と、大川美雄元在カナダ大使の『カナダ紹介』によって、オタワ会議がより身近になったことと思います。

4月2日の見学会は、皇居と寛永寺のバスツアー、カナダ大使館訪問、事務所訪問の3コースで、正に春爛漫の東京をご案内しました。

東京支部一同多忙な1年でしたが、総会開催でぐっと力がついたと、錯覚に酔っています。ちなみに、大勢のご出席のお陰で、東京支部の負担はゼロという健全財政でした。

来年は神戸です。震災復興途上の神戸支部が、お世話くださいます。皆様、こぞって出席しましょう。

＊国立女性教育会館は平成13年4月1日より、文部科学省の直轄機関から独立行政法人国立女性教育会館となり、大野曜氏は理事長に就任されました。

≪国際奨学生報告会≫

タイの開発の歴史と経済・女性の現状

国際奨学委員　菊　池　薫

右から宮島国際奨学委員長、パトゥンポン氏、通訳の菊池委員（懇親会の席上で）

2000年度国際奨学生、タイのラカンオーラン・パトゥンポン氏（九州大学大学院比較社会文化研究科研究生）の報告会は4月1日の総会に引き続いて行われ、例年を3倍以上も上回る約90名が出席。「タイの開発の歴史と経済・女性の現状」と題し、敬語も正しく運用するほど日本語の達者な同氏、前半の研究分野は日本語で発表を行った。

1997年にタイを襲った財政危機の対策としてタイ国王が提案したのが「ほどほど経済」。自給自足を目指し、高成長よりも安定成長を優先する政策である。

タイはまだまだ封建社会。労働市場でも賃金や職場の地位には男女の格差が現存と指摘。打開の道は、女性が高等教育を平等に受けられることにあると強調。質疑応答も女性と教育問題に集中して活発に行われた。

懇親会と総会にも参加した同氏、「エンパワーメント」という言葉を初めて知ったと告白。会員諸氏の熱意に動かされ、自らも輪に加わって働きかけたいと決意を語った。

東京支部からの記念品には桜に託して一層のご活躍を祈念する虚子の俳句が添えられ、奨学生への期待が込められていた。

通常総会会期中の報告会。ご本人にとっても印象深いものであり、また、JAUWの活動の一環としての国際奨学金事業の成果と意義を広く会員の方々に周知いただく良い機会であったと考える。

≪見学会≫

皇居・寛永寺の見学

京都支部　平　岡　佳　子

雪の舞う3月末の東京。どうなることかと思ったが、2日の皇居は桜満開の快晴。桔梗門より桝形造りの門を入り窓明館へ。ビデオ説明の後、3杆1時間半の見学。石垣の上に桜をたずさえた三重櫓の「富士見櫓」が、天守閣焼失後その代用をし、江戸城の威厳を保ち、凛として、八方正面の櫓の姿で旧本丸東南隅に立って居た。

江戸城・東京城・皇城・宮城・皇居と名を変えた濠の内には、宮殿・宮内庁・桃華楽堂等明治以後の建物もあったが、お濠の石垣や道灌濠に往時を偲びながら歩む感動のひと時であった。

「葵の間」で浦井正明住職より説明を受ける参加者

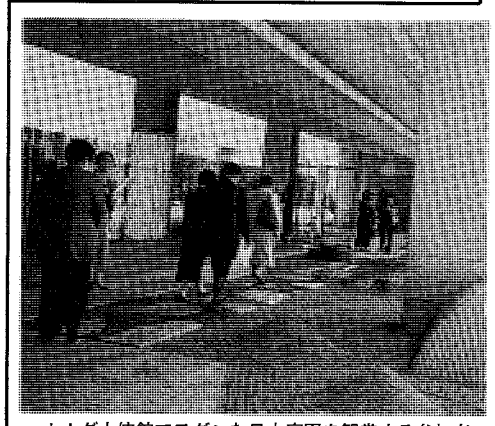
鰻の老舗伊豆榮で昼食後、天海大僧正創建の、上野の「東叡山寛永寺」の拝観。

現龍院浦井正明御住職の懇切な説明を聞きながら綱吉公の緑青色の豪華な墓。水・松竹梅・亀の彫られた法華経の木の門。吉宗公の質素な石の墓とふうの木等を見てから、大政奉還の後の徳川慶喜公の謹慎の間である「葵の間」を見せて戴いた。墓の相違に治政の差を知り、徳川時代の終わりに一抹の寂しさを感じた。

何れの国についても言える事だが「自国の文化」を大切にする事が国際化への第一歩であると私は思う。日本人としての誇りを持てと江戸の風物は教えてくれた。

≪カナダの夕べ≫

元在カナダ大使大川美雄氏



カナダ大使館でモダンな日本庭園を観賞する参加者

総会終了後の「カナダの夕べ」では、青木怜子IFUW第一副会長からIFUWの組織やオタワ総会のプログラムについて説明がなされた。

つづいて元在カナダ大使大川美雄氏が、たくさんの貴重なスライドを使って、カナダの歴史、美術、文学などをお話くださり、予備知識を得て、翌日70名余がカナダ大使館を訪問した。

社団法人 大学婦人協会支部長名簿 (2001年度)

2001年5月31日現在

支部名	氏　名	出身校	〒	住　所	電　話	FAX
小　樽						
札　幌	村上　和美	津	002-8023	札幌市北区篠路３条3-6-20	011-772-3689	
函　館	大沼　行子	日女	040-0003	函館市松陰町15-2－405	0138-54-1636	
秋　田	川原　悦子	奈女	010-0854	秋田市手形山崎197	018-834-4235	018-833-8811
仙　台	飯岡　絹子	実	984-0073	仙台市若林区荒町209	022-227-1345	022-266-0261
福　島	荻原ノリ子	福島	960-8157	福島市蓬莱町6-15-17	0245-48-7436	
新　潟	小林　裕子	I.C.U.	950-2072	新潟市松美台4-6	025-233-0495	025-233-0495
茨　城	松本由美子	共女	312-0041	ひたちなか市西大島1-26-22	029-274-4197	029-274-4197
栃　木	友枝　純子	東女	320-0052	宇都宮市中戸祭町850	028-621-1581	028-622-1010
群　馬	植原　映子	成蹊・院	371-0045	前橋市緑が丘町26-5	027-231-9431	027-231-9431
長　野	掛塚　芳子	昭女	381-0082	長野市上駒沢1329-17	026-296-2843	
東　京	坂上栄美子	大女	206-0013	多摩市桜ケ丘2-18-11	042-374-0349	042-371-7091
神奈川	堀　美知子	早	243-0412	海老名市浜田町6-11	0462-32-5660	0462-32-3588
静　岡	越村とくゑ	奈女	420-0886	静岡市大岩2-25-7	054-245-4785	054-245-4785
愛　知	泉　ひさ	南山・フォーダム院	466-0815	名古屋市昭和区山手通3-8-2-306	052-832-3185	052-832-3185
岐　阜	松井　恵美	津	502-0017	岐阜市長良雄総880-103	058-232-5010	058-232-5010
金　沢	山村　福子	日女	920-0942	金沢市小立野1-5-1-406	076-262-8640	076-262-8640
福　井	山田　由美	武庫女	918-8037	福井市下江守町9-26-25	0776-34-2901	0776-34-2901
京　都	中村　泰子	奈女	604-0086	京都市中京区小川通丸太町下ル中ノ町81-1	075-211-8728	075-211-8744
奈　良	久留島涼子	奈女	630-8101	奈良市青山8-272	0742-27-6576	0742-27-6576
大　阪	西野　博子	奈女	583-0012	藤井寺市道明寺1-6-26	0729-54-5676	0729-54-5676
神　戸	樋口　幸子	神女	657-0067	神戸市灘区篠原本町3-5-10	078-881-2762	078-881-2763
岡　山	村岡　知子	東農	703-8255	岡山市東川原278-1-503	086-271-2606	086-271-2606
広　島	舟橋　喜恵	名古屋	734-0045	広島市南区西本浦町14-11-601	082-285-2584	082-285-2584
山　口	松岡　静子	日女	743-0001	光市室積8-3-12	0833-78-0131	0833-79-0577
愛　媛						
高　知						
大　分	柏田　知子	九州	870-0851	大分市大石町１丁目４組	097-544-2677	
熊　本	佐方　宏子	熊女	862-0908	熊本市新生1-20-12	096-369-3228	
福　岡	和栗　方子	茶	810-0053	福岡市中央区鳥飼1-6-45	092-761-3812	092-761-3812
長　崎	平野　啓子	日女	850-0822	長崎市愛宕3-4-23	095-828-2545	095-828-2714
鹿児島	大久保美智子	日女	891-0103	鹿児島市皇徳寺台4-51-6	0992-65-6375	

社団法人 大学婦人協会 二〇〇〇年度 事業報告 二〇〇一年度 事業計画

書記 百束 礼子 関口 瑞穂

総務報告

組織（2001年3月1日現在）

会員
正会員 1735名（内本年度新入会員83名）
賛助会員 14名
理事 19名
監事 2名
役員選考委員 7名
評議員 29名
支部 32支部

事業

1. 2000年4月2日 第43回通常総会を奈良市新公会堂にて開催
2. 定例理事会（月1回）を11回開催 臨時理事会を2回開催 議事内容に関しては、理事会記録として評議員（支部長）に送付し、必要に応じて、会報『JAUW』紙上で会員に報告
3. 4月26日 平成12年度都民税均等割申告書・都民税均等割免除申請書を新宿都税事務所に提出 11月4日免除申請認可
4. 5月16日 韓国大学婦人連盟50周年記念祝賀大会に山本会長及び房野IFUW会員委員会委員が出席
5. 5月20日 守田科学研究奨励賞第2回贈呈式及び祝賀パーティーをJAL CITY四谷で開催 受賞者2名
6. 5月22日 理事・監事異動に伴う法人登記申請 6月6日登記完了
7. 6月3日 理事会で2000年度の国際奨学生としてタイのラカンオーラン・パトゥンポン氏を決定
8. 愛知支部会員よりなる研究グループに、昨年に引き続き若手会員育成金より補助金を支出することを決定
9. 科学研究奨励委員会規程及び守田科学研究奨励賞規程を作成
10. 6月12日 「理事及び監事異動届」・「平成11年度事業報告書」を文部省に提出
11. 7月25日 「平成12年度民間社会教育活動振興費補助金交付申請書（案）」・「平成13年度民間社会教育活動振興費補助金事業計画書」を文部省に提出 平成13年度の補助事業名は「21世紀、男女共同参画社会におけるエンパワーメントのストラテジー、教育の視点から」とした。
12. 第45回通常総会を2002年4月14日（日）神戸で開催することに決定
13. 9月18日 文部省の育英奨学事業に関する実態調査書を提出
14. 9月27日 「平成12年度民間社会教育活動振興費補助金交付申請書」を（財）全日本社会教育連合会に提出
15. 10月14日、15日 文部省国庫補助事業全国セミナーを国立婦人教育会館で開催 セミナーでの全体討議をまとめ、「要望書」として、12月12日、総理府、文部省、厚生省、労働省に提出 セミナーの内容を「報告書」の形にまとめ、3月15日刊行 会員・関係諸機関に配布
16. 10月16日 平成12年度公益法人概況調査票を文部省に提出
17. 大学婦人協会事務所のあるマンション管理組合の理事長を大学婦人協会で担当 任期は2000年10月～2001年9月
18. 国際奨学金基金（現在は三菱信託銀行の6、000万円の貸付信託）を同銀行の法人向けの変動金利型定期預金（3、000万円2口）に変更 2001年1月13日
19. 会員相互の親睦をはかるため、「新春のつどい」を京王プラザホテルにて開催
20. 「新春のつどい」の席上で、2000年度国内奨学生に対する奨学金の贈呈式を行った。

一般奨学生	9名
大学院生	5名
学部生	1名
安井医学奨学生	1名
ホームズ奨学生	4名
社会福祉奨学生	

21. 男女共同参画推進連携会議（えがりてネットワーク）参加団体一覧記載事項を内閣府に送付
22. 1月25日 2001年度IFUW会費20、400スイスフラン（12SF×1700名）をIFUW本部へ送金
23. 1月29日 奨学事業支援のための「天満敦子ヴァイオリン・リサイタル」を開催
24. 2月3日 2001年度予算案を理事会において承認
25. 2月16日 七婦人団体議会活動連絡会へ退会届を提出
26. 3月5日 内閣府男女共同参画局の「男女共同参画民間団体データベース」へ掲載のための書類を送付
27. 3月26日 平成13年度事業計画書を文部科学省に提出、3月30日 平成12年度文部省国庫補助事業実績報告書を（財）全日本社会教育連合会に提出

逝去会員

本年度逝去会員に対して、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りする。

林田喜美子（大市）大阪
高見夛恵子（奈女）熊本
野口 敏子（奈女）東京
上坂むつみ（日女）神奈川
斎藤冨美代（日女）新潟
村井 孝子（津）東京
萩原 芳子（津）東京
廿楽幽香子（津）神戸
堂垣内香千枝（茶）札幌

事業計画概要（2001年度）

1. 国庫補助事業として、委員会・支部の調査研究を内容とするセミナーを開催し、報告書を作成する。
2. 守田科学研究奨励賞・国内奨学金・国際奨学金・ホームズ奨学金を贈呈する。
3. NGO参加団体としての活動を行う。
4. 機関紙『JAUW』を発行する。
5. 第27回IFUW総会（オタワで開催）に参加する。

委員会報告

企画第一委員会 杉森長子

事業報告（2000年度）

平成12年度文部省国庫補助事業として、全国セミナーを企画し実行した。詳細は「全国セミナー報告書」としてまとめ、平成13年3月15日に刊行し、会員及び関係諸機関に送付した。

これに先立ち、平成12年12月12日には、セミナーで発表・討議された意見をまとめ、女性のエンパワーメントに関する決議事項ならびに関係各省庁への要望書として、関係省庁各位（男女共同参画推進本部長・内閣総理大臣、男女共同参画担当大臣・内閣官房長官、総理府男女共同参画室室長、文部大臣、文部省生涯学習局局長、文部省生涯学習局男女共同参画学習課課長、厚生大臣・労働大臣）ならびに全国の支部長各位に送付した。また全国各地の支部を通して、各地方自治体にも提出した。左記に、セミナーの概要を報告する。

1. セミナー・プログラムの概要

テーマ：「女性のエンパワーメント－男女共同参画社会の確立をめざして－その3」
開催日：2000年10月14日、15日
会場：国立婦人教育会館
基調講演：「女性・男性それぞれのエンパワーメント」
講師 柏木恵子氏（白百合女子大学教授・発達心理学会理事長・日本学術会議委員）
シンポジウム：「エンパワーメントのストラテジー」
パネリスト 加藤千佐子氏・賀谷恵美子氏・高井正氏
コーディネーター 山本和代氏
研究発表：男女平等教育（新潟支部・茨城支部）
高齢者の自立（神戸支部・社会福祉委員会）
政策決定への参画（静岡支部）
幼児期の教育と環境（大阪支部・国内NGO委員会・教育委員会）
女性と職業（女性の地位委員会・若手会員研究グループ）
全体討議

2. 企画の経緯

本年度のセミナーは、「女性のエンパワーメント－男女共同参画社会の確立をめざして」と題する3年間の全国セミナー企画における最終年セミナーとして位置付けるに足る企画とし、実行された。また、来年度にカナダで開催を予定されている世界大会を控えたセミナーであることも考慮して企画された。

企画委員会は本部理事、支部会員（茨城支部、神奈川支部、静岡支部から各1名）および元企画委員4名を含む20名で構成され、毎月理事会開催日の午前中に会合を持ち、企画内容を検討した。企画委員会報告はその都度、各支部長へ送付し、本部と支部との連携を密にし、セミナーの内容充実と円滑な運営を目指した。

セミナーの実施にあたり、実行委員会を設置した。実行委員会は、本部理事、本部各委員会委員および東京支部からの委員により構成され、実行委員は総勢25名であった。企画委員会との合同委員会をセミナーの前に2回、後に1回開催し、企画の円滑な実行を図った。

◎文部省関係
3月29日 国庫補助金申請のため「事業計画書」を提出
7月11日 国庫補助金1、760、000円の仮内示通知
7月25日 国庫補助金交付申請書（案）の提出
9月20日 国庫補助金の内定通知（1、760、000円）
9月27日 国庫補助金交付申請書の提出
12月12日 要望書提出
3月30日 実績報告書提出

◎企画委員会関係
第1回（5月26日） セミナーの日程・会場・テーマ・企画委員の確認 セミナーの形式と構成、基調講演者の検討
第2回（6月3日） 基調講演者の候補者決定 セミナー開会時刻と閉会時刻について検討
第3回（7月1日） 基調講演者は柏木恵子氏に決定 パネリストの候補者を検討 プログラムの検討
第4回（9月2日） パネリストの決定 プログラム（役割分担を含む）の決定
第5回（10月13日） セミナー前日の打ち合わせ
第6回（11月4日） セミナーの反省及び要望書・決議文の検討
第7回（11月7日） 要望書の検討・作成

◎企画・実行合同委員会関係
第1回（9月2日） 実行委員の役割分担と企画委員との相互の打ち合わせ
第2回（10月13日） セミナー会場での事前準備と各自担当の確認
第3回（12月2日） セミナーの反省

3. 参加者総数 181名
来賓：2名、講師：1名
パネリスト：3名、会員：159名、非会員：15名、職員：1名、

4. 企画委員ならびに実行委員（50音順）

企画委員
山本 和代（会長）
杉森 長子（企画委員長）
加藤 恭子（実行委員長）
飯塚 恵子
井口美登利
尾上 夏子
坂上栄美子
関口 瑞穂
田中 正子
藤谷 文子
牧野恵美子
鷲崎 千春

実行委員
秋月 薫
市川知恵子
金子 堯子
小坂 順子
島 美喜子
中山 律子
玉井美枝子
中山 正子
橋本津栄子
福田 文子
松本 佳子
峯川 正子
山崎 邦子
吉村 光代
五十嵐康子
江口 昌子
越村とくゑ
鈴木 伸子
高田 素子
平野 和子
藤村久美子
百束 礼子
阿部 裕子
大森たへ子
木村 和子
斉藤 智恵
鈴木 光子
野崎 方子
平田 宏子
待場田鶴子
三浦由紀子
宮島 茂子
山澤 和子

企画第二委員会 加藤恭子

事業報告（2000年度）

1. 若手会員育成金によるヤングメンバーズグループの研究会を例年通り募集 昨年にひきつづき愛知支部林依里子会員を中心とした研究会に、20万円の助成金を交付 研究テーマは「女性のエンパワーメント－具体化された姿を探り普遍的な鼓動を見出す」 本年度セミナーで発表し、オタワの総会時にワークショップに参加する予定
2. 国際奨学金は国際奨学金基金6、000万円の利息で運営されているが、低金利のため継続が困難となった。6、000万円のうち1、000万円をとりくずし奨学金にあてることを、本年度の総会で承認を得、文部省にその許可を求めたが、法令審議室の回答は、「基金はとりくずすことはできない」とのことであった。とりくずす場合は、5年から10年で補塡をする計画が必要であり、これは不可能なことで、あきらめざるを得ない。従って、国際奨学金を継続するためには資金を作り出さなければならない。さしあたって今年度は、1月29日、津田ホールで「天満敦子ヴァイオリン・リサイタル」を開催、490席のチケットは、会員の理解と協力を得て完売した。約110万円の収益を得ることができた。

委員
秋月 薫
金子 堯子
島 美喜子
関口 瑞穂
富樫 絢子
松本 佳子
山中 照子
井口美登利
斉藤 智恵
鈴木 光子
玉井美枝子
中山 正子
宮島 茂子
加藤 恭子

事業計画（2001年度）

1. 若手会員育成金によりIFUWオタワ総会に出席する若手会員を募集し、その渡航費を支援する。
2. 賛助会員につき審議し、会員の名称・資格などを再検討する。
3. 国際奨学金基金のとりくずしにつき対策を練る。
4. JAUWの事務所のあるパトリシア信濃町テラスの管理組合理事長を平成13年10月まで引き受ける。

財務委員会 藤谷文子

事業報告（2000年度）

1. **委員会活動**

4月1～2日 バザー開催（第43回通常総会会場）
4月26日 第1回委員会
5月18日 ランプの会（富士レイク13名）
5月31日 第2回委員会
6月9、15日 観劇会（新橋演舞場「ミツコ」9名）
6月7、15、16、17日 観劇会（三越劇場「三越歌舞伎」82名）
6月28日 第3回委員会
7月5日 講演会（三笠宮寛仁親王殿下「わが国の福祉」83名）
9月6日 第4回委員会
9月30日 講演会（佐々木知子氏「少年事件と少年法」64名、東京支部と共催）
10月4日 第5回委員会
10月14～15日 バザー開催（セミナー会場）
11月15日 バスツアー（沼津御用邸92名）
11月22日 ランプの会（桃里カントリー倶楽部16名）
12月6日 第6回委員会
12月9日 観劇会（新橋演舞場「松竹新喜劇」75名）
12月21日他 観劇会（三越劇場「桜の園」44名）
1月10日 第7回委員会
1月13日 新春のつどい（京王プラザホテル110名、バザー開催）
2月7日 第8回委員会
2月20日 勉強会（NTT、JNF見学29名）
3月7日 第9回委員会
3月10日 観劇会（明治座「近松心中物語」73名）

2. **寄付状況**（2001年3月31日現在）

寄付金総額 2、312、120円

a. 寄付金（敬称略） 644、913円
○アダチ財団 140、900円
○井上ジェムス 303、740円
○会員による現金寄付 75、000円
○丸大食品 125、273円

b. 活動その他による寄付 1、667、207円
○バスツアー 199、810円
○講演会・勉強会 126、268円
○観劇会 537、397円
○ランプの会 58、000円
○会員寄贈品（バザー） 29、455円
○雑貨販売（バザー） 608、277円
○新春のつどい 108、000円

本部へ（2001年3月31日まで）入金 2、312、020円

事業計画（2001年度）

1. バザー開催
2. バスツアー、旅行
3. 観劇会
4. 講演会、勉強会
5. ゴルフ愛好会（ランプの会）
6. JAUW新春のつどい（2002年）
7. 2002年度予算案作成

国内奨学委員会 金子堯子

事業報告（2000年度）

1. **一般奨学・安井医学奨学・ホームズ奨学**

4月15日 理事会において、今年度第53回一般奨学生の募集は、大学院生9名（10万円、内1名は東京支部からの寄付による）、学部生5名（8万円）、第10回安井医学奨学生1名（30万円）、第46回ホームズ奨学生（2000年度は東京女子大学）1名（10万円）の贈呈の承認を得る。
5月10日 社会福祉委員長と共に委員会開催 今年度の国内奨学生選考のスケジュールを検討し、応募締切日（案）を9月18

日とし、5月13日の理事会にて承認を得る。
5月25日　募集要項書類を、62大学学長宛、及び30支部長宛に発送　ホームズ奨学生は東京女子大学に推薦を依頼　会報199号に募集要項掲載
10月3日　応募者総数84名（一般奨学生　大学院生39名、学部生40名、安井医学奨学生4名、ホームズ奨学生1名）選考委員に応募書類のコピーを送付
10月28日　選考委員会開催　加藤副会長出席の上、選考委員全員により慎重選考審議の結果、奨学生候補として一般奨学生14名（大学院生9名、学部生5名）、安井医学奨学生1名、ホームズ奨学生1名を選出
11月4日　理事会で一般奨学生、安井医学奨学生、ホームズ奨学生を承認
11月18日　選考結果を応募学生、大学学長、支部長に通知
1月13日　京王プラザホテルにおける「新春のつどい」で奨学金贈呈式　奨学生9名出席　茨城、静岡、京都、神戸の各支部で授与式を行う。
2月1日　会報200号（選考結果及び奨学生の小論掲載）を奨学生、応募大学の学長宛送付
2月3日　理事会で1月13日の贈呈式欠席者1名に賞状と奨学金を贈呈

事業計画（2001年度）
1. 第54回一般奨学生の募集、選考
2. 第11回安井医学奨学生の募集、選考
3. 第47回ホームズ奨学生の募集、選考
4. 2001年度国内奨学金贈呈式の準備

国際奨学委員会　宮島茂子

事業報告（2000年度）
4月30日　応募締切　インド3名、オーストラリア1名、オランダ1名、コスタリカ1名、スリランカ1名、タイ1名、計8名の応募者あり。
5月14日　選考委員会開催　選考の結果、2000年～2001年の奨学生にタイのラカンオーラン・パトゥンポン氏を選出　奨学金は60万円
6月3日　理事会で承認　氏は九州大学日本社会文化研究科の研究生として研究
10月9日　委員会を開催　国際奨学金規程訂正及び奨学金の金額などについて検討し、同日、2001年度募集要項と申し込み用紙をIFUW加盟国に発送
11月10日　元IFUW奨学生宮本なほ子さんのお話を聞く会を開催（会員委員会と共催）

事業計画（2001年度）
前年度に引き続き、IFUW加盟国会員を対象として、国外から1名の研究者を招き、奨学金を授与　奨学金の金額を2001年度より60万円～80万円とすることを理事会で決定、他の要項は前年度と同様
8月25日　主な大学（35校）の学長、理・工学部長宛に、募集要項とともに候補者推薦依頼状を送付
9月11日　日経・産経・読売・朝日・科学新聞社宛に、第3回募集要項を発送、掲載を依頼
次のとおり掲載された。
朝日（10／6）・産経（10／13）・日経（10／23）・読売・科学新聞
11月30日　応募の受付締切　応募者は14名
12月21日　第4回委員会：14名の候補者の審査分担、評価の基準等について協議
2月18日　第5回委員会：受賞候補者の選考、審議の結果2名の受賞者を内定
3月1日　会報201号に第3回守田科学研究奨励賞贈呈式・受賞講演・祝賀パーティーの案内を掲載
3月3日　理事会において2名の受賞内定者を承認
3月6日　応募者に選考結果を通知

事業計画（2001年度）
1. 第3回贈呈式の準備、開催
2. 第4回守田科学研究奨励賞受賞候補者募集要項の公示　学会誌・新聞等に掲載依頼　大学婦人協会ホームページに掲載
3. 第4回大学婦人協会守田科学研究奨励賞受賞者を選考

国際委員会　平野和子

事業報告（2000年度）
1. IFUW関係
(1) IFUW創立80周年記念行事に参加　持ち帰ったIFUW前会長エリザベス・ポスキット氏の記念晩餐スピーチを翻訳、JAUW総会出席者に配布
(2) IFUW本部から毎月来信する回状（8／2000～28／2000、1／2001～6／2001）、リンダ・スターリング会長からの手紙（第1信～3信）、IFUWニュース（第1号～4号）、IFUW代表による国連関係機関への出席報告を翻訳、理事会に報告し、各支部長宛に送付
(3) 10月7日の理事会で、青木怡子IFUW第一副会長を次期IFUW会長候補として推薦し、房野桂IFUW会員委員会委員を女性の地位委員会委員候補として推薦することが決定され、10月10日、推薦書など所定の書式をIFUW本部に送付
(4) 11月、ビーナ・ロイ開発パートナー・プログラム向けに20万円を送付、うち、パキスタンに5万円を送り、15万円を一般目的とした。
(5) 12月の理事会で、JAUW2000年のセミナーをIFUW80周年記念チャレンジとして報告することが認められ、2001年1月に所定の報告書を作成してIFUW本部に送付
(6) 2001年度IFUW会費を1700名分として送付（一人あたり12SF）
(3) 11月、IFUW本部よりオタワ総会の登録案内・用紙、ツアー案内など参加申し込み資料100部およびグラーツ総会出席者個人宛各1部が到着した。理事、監事、支部長宛に各1部を配布し、2001年1月末を第一次締め切りとして、参加希望者数の把握を各支部長宛に依頼した。
(4) 2001年1月、オタワ総会にJAUWとしての決議案を提出するため、会長、両副会長、中村ミチコ元会長、国内NGO・教育・国際各委員長から成る小委員会を設け、JAUWセミナー決議を基に案文を作成し、IFUW本部に送付した。
(5) 愛知支部林依里子会員を代表者とする若手会員研究グループによるワークショップ案をIFUW本部に送付、3月に受理された。

3. 人事交流
(1) 8月にイギリス大学婦人協会会員ミズ　フラビア・ジョリフが来日し、国際委員が接待、交流をはかった。
(2) 8月にアルゼンチン大学婦人協会会員ミズノーマ・ポッゾが研修会に参加するため来日した機会に、国際委員が接待、交流をはかった。

4. その他
2000年6月にニューヨークで開かれた国連特別総会、女性2000年会議に出席した房野桂会員による報告会を6月30日に開催した。

5. 委員会
5月11日、7月17日、9月22日、11月24日、2月19日に委員会を開催したほか、翻訳資料の作成、配布の都度、委員が協力した。セミナーに、国際委員2名が実行委員として協力した。

事業計画（2001年度）
1. 第27回IFUW総会開催の年にあたるため、多数の会員に参加を呼びかけるほか、会議出席に向けた勉強会、説明会などを計画し、実施する。また、参加申込者のリスト作成など、必要に応じた対応や事務処理を行う。
2. IFUW本部から毎月送られてくる回状、会長の手紙、IFUWニュースなどの文書を翻訳し、会員に知らせる。
3. JAUWの活動や動向をIFUW本部へ報告し、相互の連絡、情報交換を密にする。
4. 来日したIFUW会員を接待し、交流をはかる。
5. JAUW会員がIFUW加盟国へ渡航する際、必要に応じた紹介業務にあたる。

国内NGO委員会　五十嵐康子

事業報告（2000年度）
1. 「国連NGO国内婦人委員会」役員会5回
(1) 第55回国連総会政府代表団に柳川恒子氏（前女性法律家協会副会長）を推薦、承認される。9／22歓送会　1／29国連総会報告会
(2) 第55回国連総会に際し、日本政府のステートメントに対する要望を外務大臣に提出
(3) 6／5～6／10国連特別総会「女性2000年会議」の政府代表団NGO顧問として中村道子委員長が参加　諮問資格をもつNGOとして、連絡会より房野桂氏、関口悦子氏が参加
(4) 6／26～7／2　第7回「日本・ジョルダン・エジプト・パレスチナ女性交流」　テーマ「女性と健康」　於：東京・神戸
2. 「国際人権規約完全実施促進連絡会議」8回
(1) 11／30講演会〝なぜ「不法」なのか－滞日外国人のおかれた立場－〟　講師　田中宏氏（龍谷大学）　於：津田塾同窓会会議室
(2) 12／13、14　国連人権デー要望書提出「人権関係条約の早期批准と完全実施に関する要望」総理府・自治省・文部省・外務省・法務省・厚生省・労働省（訪問順）に提出
3. 「国際婦人年日本大会の決議を実現するための連絡会」（以下連絡会と略す）
(1) 5／22連絡会総会
○第44回国連婦人の地位委員会報告　房野桂氏・関口悦子氏
○ユニフェム東京の発足総会（4／8（土）　於：国際文化会館講堂）報告
(2) 連絡会全体会の主な活動　8回
○加盟49団体の合意による要望書、意見書、抗議文などを政府関係省庁、関係団体等に提出（12件）
(3) 女性2000年NGO日本大会
○日時：11月18日（土）　於：千代田公会堂　JAUWから山本会長初め理事8名、各委員会委員22名、東京・茨城・栃木各支部から5名　計36名出席
○テーマ：「男女平等・開発・平和、女性たちのさらなる前進」
○記念講演：「21世紀を生きる女性たちの課題と行動」　講師　パム・ラジプット氏　インド・パンジャブ大学女性学開発研究所所長　APWW（アジア太平洋女性監視機構）代表
○スライド構成：「ともに連帯し行動した25年、新世紀の夜明けに向かって」
○パネルディスカッション：「あらゆる分野への男女平等参画の課題と方策」
パネリスト　高島順子・津和慶子・丸岡玲子（連絡会各座長）
コーディネーター・パネリスト　山口みつ子（連絡会事務局長）
○女性2000年NGO日本大会決議
女子差別撤廃条約選択議定書を日本政府は早期に批准すること等を含む21項目の決議を行った。
○21世紀に向けて男女平等参画社会を創るNGO宣言
女性があらゆる分野に全面参画するとともに、人権と平和を基調とする新たな価値を生み出す社会をつくりだす等
(4) 分野別部会の活動
＜政策方針参画＞部会8回　担当：峯川委員
○「女子差別撤廃条約選択議定書の批准を求める請願」準備
○2000年の衆議院議員選挙結果の分析と選挙制度改正について提起
○「参議院議員選挙に対する公職選挙法改正に関する要望」策定
＜教育・マスメディア＞部会10回　担当：斉藤委員
○教育基本法、子どもの権利条約、女子差別撤廃条約に照らし「日本の教育改革」及び新教育課程の実施に向けての行動
○子ども向けマンガ及びインターネット等の、ポルノ及び女性・少女に対する暴力的な描写について検討し、行動を起こす。
＜労働＞部会8回　担当：海老原・手島・松比良・若井委員
○終身雇用制度の減少と、パート・派遣・契約労働の増大による問題への取り組み
○仕事と育児・介護の両立支援の強化
＜家族・福祉＞部会4回　担当：野崎・望月・田中委員
○9／27　35名に増えた女性衆議院議員との懇談会
○「女性に対する暴力防止法」の制定に向けて
○リプロダクティブ／ヘルス・ライツ
○介護保険制度発足後のフォローアップ
○少子化対策でなく、子育て支援策の拡充
＜平和・環境・開発＞部会7回　担当：片岡・仲町・矢鋪・野田委員
○核兵器廃絶・核軍縮を求める活動
○循環型社会づくりに向け、企業及び日本政府への働きかけ。
○内分泌攪乱化学物質、遺伝子組み換え、地球温暖化等
＜ユニフェム＞部会11回　担当：五十嵐
○4／8「ユニフェム東京」発足総会
○ユニフェムを広く一般に知らせる活動の推進
○ユニフェム拠出金をはじめ、WID関連ODAが開発途上国の女性の自立に真に役立つものとなるよう、必要に応じ政府に働きかける。

4. その他総理府や他団体主催行事に参加

5. 委員会活動　委員会8回
(1) 2000年度セミナーに参加　セミナー小委員会20回（5／24～8／24）
(2) 国内NGO委員会委員は前述の部会等に出席し、報告書を委員長に提出し、委員長は報告をまとめ、毎月の理事会に報告している。

事業計画（2001年度）
1. 関係諸団体（「国連NGO国内婦人委員会」「国際人権規約完全実施促進連絡会議」「国際婦人年日本大会の決議を実現するための連絡会」）との連携を密に保ちながら、2001年も積極的な活動を続ける。
2. 学習・啓蒙活動　テーマを幼児期からの教育にしぼり、科学・環境・育児など取り上げる予定

教育委員会　藤村久美子

事業報告（2000年度）
2000年度は左記の二つの事業を行った。
1. テレビアニメが子どものジェンダー観に及ぼす影響についての研究調査
現代の子どもたちにとって最も身近な娯楽であるテレビアニメが、子どもたちのジェンダー観にどのような影響を与えているかについての研究に、2年間にわたって取り組むことにした。2000年度には、子どもたちのアニメ視聴の現状を調べるために、保育園児・幼稚園児・小学校1年生の保護者、さらに小学校1年生の子どもたちを対象にアンケート調査を行った。調査結果は全国セミナーで発表した。
2. 「留学生と日本文化を学ぶ会」の活動
1999年度に発足したこの会の協力会員登録者数は119名　担当者会は年間7回開催し、①フラ

第44回通常総会　山本和代会長挨拶

ワーアレンジメントとお茶の会 ②文楽鑑賞会の2回の催し物に留学生を招待した。参加した留学生から、伝統文化に接することは子が母親に抱かれるようだとの感謝の言葉が届いた。

事業計画（2001年度）

1．子どもとテレビアニメについての研究調査に引き続き取り組む。

2．「留学生と日本文化を学ぶ会」は日本の伝統文化を鑑賞する催しを1～2回、留学生と会員の交流をはかる企画を2回程行う予定

女性の地位委員会　鈴木伸子

事業報告（2000年度）

1．定例委員会及び全国セミナー

5月27日　第1回会合　女性の地位委員会の活動目標確認

6月19日　全国セミナー参加の意志確認、発表概要を決定

7月12日　全国セミナー参加に向けて学習会発足

8月22日　全国セミナー発表要旨の確認

9月11日　全国セミナー発表レジュメ作成

10月14、15日　全国セミナー参加・発表「大卒女性の就職・再就職」

11月13日　全国セミナー参加の反省会及びまとめの会

1月31日　新年会及び来年度活動について討議

2月23日　来年度活動テーマを決定

3月26日　まとめの会

2．七婦人団体議会活動連絡委員会関係

当委員会より海老原、若井各委員が出席

事業計画（2001年度）

1．女性の地位向上及び男女共同参画社会の実現に向けての調査・学習・研究活動

2．全国セミナーへの参加及び研究発表

3．その他の事業計画は新年度委員会で決定の予定

社会福祉委員会　玉井美枝子

事業報告（2000年度）

1．社会福祉奨学金を、愛知支部と京都支部からの推薦の方々及び東京地区の大学推薦の方々、合計4名に贈呈した。

2．「障害者・高齢者の自立支援に関する研究」として、今年度は地域の図書館、公民館、シルバー人材センター等の実態調査をして、全国セミナーで研究報告をした。

3．1996年度社会福祉奨学生の三村栄子さんを講師に招いて、点字講習会を開催（計5回）。その習得成果を全国セミナーにおいて展示発表した。

4．「障害者・高齢者の自立支援に関する研究」を継続し、今年度はハンディキャップスの方々の立場からの実態調査をもとに追求する。

事業計画（2001年度）

1．社会福祉奨学金の贈呈

2．点字講習会（承前年度）に併せ手話学習会の開催

3．ノーマライゼイションやユニバーサルデザインに関連する研究施設の見学

広報委員会　鷲崎千春

事業報告（2000年度）

会報『JAUW』発行（4回）

本年度の当協会の事業と活動全容を編集し、会員と関係諸機関に発送

198号（10頁）2000年6月20日発行　各支部宛送付

199号（4頁）2000年11月25日発行　各会員宛送付

200号（6頁）2001年2月1日発行　各支部宛送付

201号（2頁）2001年3月1日発行　各会員宛送付

事業計画（2001年度）

1．会報『JAUW』（202号～205号）発行の予定

会員委員会　秋月薫

事業報告（2000年度）

1．会員の現状把握

2．会費納入の推進

3．会員の増強

4．「サロンJ」を開催於：事務所

第5回　9月12日（火）題目「豊かな経験を得て」中村ミチコ会員

第6回　11月10日（金）題目「カナダでの大学生活と、そこで出会った女性たち」宮本なほ子会員

第7回　2月8日（木）題目「国連を通じた日本の国際貢献」山本美保子会員

5．その他　リーフレット作成

折にふれ配布のため会員委員会で作成

事業計画（2001年度）

1．会員の現状把握

2．会員の増強

3．会費納入の推進

4．年3回ぐらい「サロンJ」を開催予定

5．文化委員会　第2回例会担当

支部報告

小樽支部

札幌支部　村上和美

会員数　41名

支部会費　2500円

事業報告（2000年度）

4月2日　北海道男女共同参画プラン推進協議会代表者会議（支部長出席）

4月12日　北海道男女共同参画プラン推進協議会監査（支部長出席）

4月15日　支部総会

4月19日　北海道男女共同参画プラン推進協議会理事会（支部長出席）

5月20日　第1回役員会

5月22日　北海道男女共同参画プラン推進協議会代表者会議（支部長出席）

女性問題研究講座（支部長他1名出席）

6月17日　第1回例会「万葉集について－お話：臼居和子会員」

7月15日　第2回役員会

7月19日　北海道女性プラザ祭実行委員会（支部長出席）

7月22日　第1回自然・文化・歴史を訪ねる会「岩橋英遠展と空知の自然」

8月3日　本部から山本和代会長はじめ11名来札

10月14、15日　全国セミナーに参加

10月20日　俳句同好会句集「出逢ひ」発行

10月21日　第2回自然・文化・歴史を訪ねる会「円山界隈散策」

10月24日　北海道女性プラザ祭実行委員会（支部長出席）

10月28日　第2回例会「親の期待と子供の希望－教育問題の一端として」

11月18日　第3回役員会

12月2日　第3回例会「IFUWデー　メキシコ家庭料理講習会」講師：ラヨ・H・デ・チバさん、戸部アナマリア会員

12月14日　北海道男女共同参画プラン推進協議会理事会（支部長出席）

1月13日　新年会

2月10日　第4回役員会

2月17日　第4回例会「生活の中の女性－懇談会」ゲスト：エズミ・タカハシさん（フィリピン）マリア・イワサワさん（メキシコ）

2月26日　全国セミナー「要望書」を道知事及び札幌市長に郵送

3月10日　第5回役員会

各委員会の活動

1．財務委員会　古典輪読会、かな書道講座、俳句同好会、第1回例会、ミニ・バザー担当

2．国際委員会　第3回例会担当

3．女性委員会　第4回例会担当

4．報道委員会　JAUW SAPPORO ミニ・ニュース（124～127号）発行

5．文化委員会　第2回例会担当

会員数、絵を描く会、自然・文化・歴史を訪ねる会担当

事業計画（2001年度）

1．各委員会担当による例会、各講座の継続

2．ミニ・ニュースの発行

3．その他支部総会で協議

函館支部　大沼行子

会員数　10名

支部会費　3000円

事業報告（2000年度）

4月2日　通常総会出席

5月20日　支部総会

7月22日　当支部の研究テーマ「南北海道における幼児教育について」の研修

8月2日　本部から山本会長、加藤副会長、ほか9名の会員が函館支部を訪問され、大いに励ましをいただいた。

9月16日　最近の高等学生、専門学生気質について話し合い、よりよき導き方を、人としてのマナーから教えることにした。

11月25日　幼児教育について研修

1月20日　新年会

2月20日　本部の藤村教育委員長よりお話を聞く。支部の研究に役立った。

3月17日　今年度の反省

事業計画（2001年度）

1．南北海道に於ける幼児教育の実態研究完成

2．会員増加

3．その他支部総会で決定

秋田支部　湊則子

会員数　34名

支部会費　2000円

事業報告（2000年度）

4月2日　通常総会出席

5月12日　事務局会議

5月13日　会計監査

5月27日　支部総会

6月1日　支部総会報告（No.1）に支部総会欠席者送付

6月24日　施設から高校へ進学の女子3名に入学祝い金贈呈

7月5日　県婦人団体協議会「婦人問題に関する学習会」参加4名（25日、27日）

7月10日　国内奨学生候補者推薦依頼を関係大学へ届ける。

7月15日　「知事と語る会」参加6名

7月29日　第1回研修会：女性問題に関する学習方法・ダイヤモンドランキング体験と懇談

7月31日　「ハーモニーネットワーク代表者会議」支部長出席

8月5日　支部会報告（No.2）送付

10月13日　「ハーモニーネットワーク2000」のバザー用押し花葉書作り8名（講師　岩見会員）

10月24日　「ハーモニーネット交流会実行委員会」（秦副委員長に。以下2月下旬まで5回）

11月7日　「市婦団連施設見学」に参加2名

11月9、10日　「ネットワーキング2000」に参加　JAUW紹介展示（組織IFUW～支部・活動等）

支部報告（ビーナ・ロイ、他）バザー、トーク参加

11月25日　第2回研修会：テレビ（ジェンダーへの気付き、啓蒙の内容）視聴と意見交換

12月3日　支部報告（No.3）送付

12月12日　女性のためのアジア平和国民基金へ10,000円送金

12月22日　「生活設計・家事管理講習会の暮らしの問題気付き講座」参加3名

1月10日　本部「要望書」を県知事、県民文化政策課、県教育長、市社会事務所等に届ける。

1月21日　新年会：会食と歌を楽しむ。次年度の会の組織、事業など意見交換

1月25日　支部報告（No.4）送付

2月22日　「ハーモニーネット交流会（テーマ　みんなパートナー）」参加5名

2月23日　市婦団連主催「暮らしを考える集い（テーマ　介護保険の問題点と課題）」参加5名

2月28日　ビーナ・ロイ開発援助プログラムへ寄付送金

3月31日　支部会報第9号発行

＊前記以外にも他団体の事業に会員多数参加協力をしている。

事業計画（2001年度）

1．支部総会

2．入学祝いの贈呈

3．研修会（2回～3回）

4．全国セミナー参加

5．親睦会

6．国際支援協力

7．他団体との協力

8．支部会報10号発行

9．その他支部総会で決定

仙台支部　飯岡絹子

会員数　36名

支部会費　3000円

事業報告（2000年度）

4月2日　通常総会出席

4月27日　宮城県各女連第1回役員会出席

5月18日　宮城県各女連三役会議出席

5月27日　第5回支部総会

6月2日　宮城県各女連総会

6月4日　佐藤忠良記念館10周年記念公開鼎談「つくる」ということ　佐藤忠良氏、朝倉摂氏、山根基世氏

6月16日　読書会「日本の危機・Part2」桜井よし子著（9月2日に2回目）

7月17日　国際交流会－絵手紙を描いてみよう－

7月21日　例会　講話「音楽について」渋谷由美子会員　仙台フィル・コンサートマスター

10月20日　各女連主催「社会奉仕・日帰り研修」研修場所　指定介護老人福祉施設　宮城県敬風園　各自入所者用寄付物品持参　ふるさと歴史館・酒ミュージアム見学

10月24日　各女連機関紙「みやぎ女性」第1回編集委員会

11月1日　移動研修「山形美術館」見学　ヘアンリ・マチス展〈

11月16日　みやぎ県男女共生ミレニアムセッション－男女共同参画社会の実現をめざして－

12月4日　女性のためのアジア平和国民基金の募金活動等に対する協力について　1口　10,000円協力送金

12月4日　各女連機関紙「みやぎ女性」第2回編集委員会（12月21日、1月31日編集作業）

12月18日　「男女共同参画社会の実現」に向けた地方ヒアリングについて

2月8日　例会及び新春懇談会　〝山本和代会長を囲んで〟

＊この他役員会4回

事業計画（2001年度）

1．総会（年2回）、例会（年3回）

2．読書会（年4回位）

3．地域の文化遺産、特に本年は仙台開府400年を記念し、公開される仙台城絵図及び江戸上屋敷主要建物姿絵図（市有形文化財）の鑑賞と講話を聴く。

4．会員による手作りアクセサリーの講習会開催

5．指定介護老人ホーム、ケアハウス等の施設訪問活動

6．県、市に対し男女共同参画社会基本法に基づく条例づくりへの要望活動

福島支部　斎藤洋子

会員数　13名

支部会費　2000円

事業報告（2000年度）

10月7日　支部総会

3月　留学生との交流会

事業計画（2001年度）

1．通常総会出席

2．全国セミナー参加

新潟支部　田中和子

会員数　96名

支部会費　2000円

事業報告（2000年度）

4月2日　通常総会出席

4月22日　支部総会

5月27日　5月例会　研究部の「アンケート調査の結果」について協議

6月24日　6月例会　講演「新潟市の女性政策について」　講師　渡辺光代氏　新潟市女性政策課課長

7月22日　7月例会　協議　研究のまとめについて

8月　発展途上国女子学生への支援（奨学金1名に贈呈）

9月2、3日　新潟市消費者協会主催不要品交換会に参加

9月30日　9月例会　講演「新女性プラン（仮称）の素案について」　講師　伊藤昭子氏　新潟県女性政策課課長

10月14、15日　全国セミナーに参加および研究発表

10月28日　親睦旅行　越後路から信濃路へ－懐かしさに出会う旅－

11月25日　11月例会　高橋雅代（ピアノ）&井上静香（ヴァイオリン）ジョイントコンサート

12月9日　奨学賞を贈るつどい・忘年会　受賞者4名

1月27日　1月例会　講演「分子の特徴と匂いの相関性について」　講師　吉井文子さん　新潟大学大学院　自然科学研究科

2月24日　2月例会　講演会

3月24日　3月例会　反省会

＊役員会9回、4部会担当者の打ち合わせ数回

＊他団体事業への参加・協力　新潟県女性財団、新潟県・市消費者協会、にいがた女性会議、新潟県・市国際交流協会、その他

事業計画（2001年度）

4月　新潟支部総会

＊例会（5月以降8月を除く毎月第4土曜日午後）、奨学賞を贈るつどい、小旅行、バザー等、支部総会で詳細を決定

茨城支部　松本由美子

会員数　70名

支部会費　2000円

事業報告（2000年度）

◎支部主催事業

4月2日　通常総会出席

4月22日　第2回役員会

支部総会

講演「北京からニューヨークへ－グローバリズムのなかで」＝「アジアの風」ネットワークとの共催

講師　竹信三恵子氏　朝日新聞社総合研究センター主任研究員

5月8日　支部だより7号発行

5月27日　支部定例会－調査研究に向けて

講話「ジェンダーフリー教育へのアプローチ」　講師　渋谷敦司氏　茨城大学人文学部教授

6月5日　支部だより8号発行

6月21日　「源氏物語」講座開講　講師　橋本静江先生

7月10日　調査研究－アンケート調査設問検討

7月11日　支部定例会－調査研究中間発表

公演「中丸三千繪ソプラノコンサート」参加

8月25日　支部だより－おしらせ発行

9月24日　支部定例会

茨城県主催「いばらき女性会議」ワークショップ参加

テーマ「ジェンダー・ディファレンスをなくすために」

10月14、15日　全国セミナーに参加および研究発表

10月25日　支部だより第9号発行

11月25日　支部定例会

講話「パソコンのある暮らし」　講師　速水智子氏　㈲プラネット・システム代表

12月20日　支部だより9号－お知らせ発行

1月27日　支部定例会・新年会

2月5日　支部だより第10号発行

2月20日　茨城大学学生を招いて調査研究しめくくり懇談会

3月24日　支部役員会・支部定例会・奨学生との懇談会

＊その他役員会6回、全国セミナーに向けて調査研究検討会議8回

◎他団体との共催・協力参加事業

4月25日　茨城県女性団体連盟総会

7月15日　国際協力セミナー「ニューヨークからの報告」

7月23日　茨城県婦人会館福祉バザー

7月28日　茨城県女性団体連盟ー明るい選挙推進女性のつどい
8月23日　ストップ「女性への暴力」実行委員会「行政各機関との懇談会」
10月6日　女性リーダー研修会
10月8、9日　ストップ「女性への暴力」セミナー基礎コース
11月11、12、18、19日　ストップ「女性への暴力」セミナーステップアップコース
11月28、29日　ストップ「女性への暴力」電話相談「ヘルプライン」
1月21日　ストップ「女性への暴力」シンポジウム
1月25日　茨城県婦人会館新年会
2月20日　茨城県女性団体連盟のつどい
3月1日　ストップ「女性への暴力」文部省報告会
＊その他後記機関・団体への出席
茨城県女性団体連盟役員会・総務企画委員会・活動委員会・広報委員会、国際協力セミナー実行委員会、ストップ「女性への暴力」実行委員会、ダイナミックいばらき協会、ものを大切にする県民運動推進会議、茨城県貯蓄広報委員会、明るい選挙推進協議会、高校総体茨城県準備委員会

事業計画（2001年度）
◎主催事業
1. 定例会の開催　奇数日の第4土曜日
2. 支部だよりおよびお知らせの発行：年6回
3. 全国セミナーへの参加
4. 「源氏物語」講座の開催
◎他団体との共催・協力・参加事業
1. 茨城県女性団体連盟構成団体としてその事業への参加
2. 国際協力セミナーの開催
3. 第8回茨城県婦人会館福祉バザーへの協力
4. 目的に応じての他団体との共催事業

栃木支部　友枝　純子
会員数　40名
支部会費　1000円（2000年度）

事業報告
4月2日　通常総会出席
7月8日　支部総会
10月14、15日　全国セミナーに参加
11月18日　支部奨学賞贈呈式　奨学生5名
2月17日　支部新年会

事業計画（2001年度）
6月　支部総会
10月　全国セミナー参加
11月　支部奨学賞贈呈式
2月　支部新年会
＊役員会随時　古典徒然草講読会の予定

群馬支部　北爪江美子
会員数　9名
支部会費　1000円（2000年度）

事業報告
4月2日　通常総会出席
5月17日　群馬県各種婦人団体連絡協議会理事会
5月20日　支部総会
6月6日　「男女共同参画社会セミナー」（群馬県教育委員会・群馬県婦人会館共催）実行委員会発足　植原支部会員、実行委員として以後、企画作成に参加
7月10日　群馬県各種婦人団体連絡協議会理事会
7月29日　支部研修会「どうぶつたちのレクイエムを読む」
8月3～5日　「男女共同参画社会実現セミナー」（国立婦人教育会館主催）
8月26日　「男女共同参画社会セミナー」（計5回）
10月14、15日　全国セミナーに参加
10月15日　福島・新潟・群馬3県サミット　於：福島市
11月25日　支部研修会　フリートーキング「大人による動物虐待が子どもたちに及ぼす影響」
12月8日　「県行政と女性団体との懇談会」（各婦連主催）実行委員会発足　支部長は実行委員として以後、企画立案に当たる。
2月3日　支部新年会
2月　県行政と女性団体との懇談会
3月　支部総会・今後の活動のまとめと反省

事業計画（2001年度）
＊支部総会にて決定

長野支部　森　かをる
会員数　17名
支部会費　1000円

事業報告（2000年度）
4月2日　通常総会出席
6月25日　支部総会
9月2、3日　「高齢社会をよくする女性の会」第19回全国大会・長野へ実行委員構成団体として参加
10月14、15日　全国セミナーに参加
11月26日　例会「高齢社会へ向けてのエンパワーメント」について話し合い
2月4日　例会　全国セミナー報告、新春情報交換

事業計画（2001年度）
＊支部総会にて決定

東京支部　坂上栄美子
会員数　522名
支部会費　3000円（2000年度）

事業報告
4月2日　通常総会出席
4月22日　東京支部総会　記念講演「狂言の世界とシェイクスピア」
講師　和泉淳子氏・和泉元弥氏・三宅藤九郎氏
6月14日　講演会「国際協力の現場から」
講師　藤田公郎氏
7月1日　東京支部会報「ともしび」第28号発行
7月4日　講演会「激動の20世紀・その反省と教訓」
講師　相馬雪香氏
9月30日　講演会「少年事件と少年法」（財務委員会と共催）
講師　佐々木知子氏
10月14、15日　全国セミナーに参加
10月25日　講演会「IT革命が私達の生活に与える影響」
講師　植田稔氏
11月29日　講演会「平安時代の出産儀礼」
講師　平間充子氏
12月18日　講演会「六千人の命を救った人道ビザ」
講師　杉原幸子氏
1月13日　新春のつどい　国内奨学金贈呈式（国内奨学委員会・社会福祉委員会と共催、奨学金の一部として10万円寄付）
3月1日　東京支部会報「ともしび」29号発行
＊委員会：毎月第2水曜日
＊バザー：奨学金などの活動資金を得るため
＊サークル：英語講座・東京漫歩くらぶ・源氏物語を読む会（Ⅰ）（Ⅱ）・楽しい俳句会・フラワーデザイン
＊対外活動：留学生相談室

歴代会長へ花束贈呈
右より就任順に竹中はる子、中村道子、山崎倫子、中村ミチコ、青木怜子、丸山庸子の各氏（懇親会）

眞理ヨシコさんの澄んだ歌声、巧みなリードで歌の輪を広げて（懇親会　アルカディア市ヶ谷3月31日）

神奈川支部　岩元もと子
会員数　46名
支部会費　2000円（2000年度）

事業報告
4月2日　通常総会出席
4月22日　支部総会
5月20日　例会
講演「女性と税制」
講師　勝又幸子会員
6月17日　例会
講演「プラスティック研究最前線」
講師　斎藤礼子会員
7月15日　例会　異文化体験ー《AAUW活動とシンガポールの結婚式》
講師　田村眞知子会員
8月28日　支部記録作成第1回ミーティング（以後3回）
9月26日　国内奨学生応募書類を選考、支部から3名を選考委員会へ推薦
9月30日　例会　講演「女性の現状：スウェーデン人の観点から」
講師　セシリア・ルーストロム・ルイン博士（スウェーデン大使館一等書記官）
通訳　田村眞知子会員
10月14、15日　全国セミナーに参加
11月8日　支部記録作成第3回ミーティング
11月18日　例会　講演「アイルランドでのゲール語研究」＜無謀と勇気は紙一重＞
講師　日景啓子氏
12月8日　忘年会（持ち寄りパーティー）
1月13日　JAUW新春のつどいに参加
2月17日　例会「来年度の活動に関する意見交換」
3月10日　例会「国内奨学生応募者との交流会」

事業計画（2001年度）
4月21日　支部総会にて決定

静岡支部　越村とくゑ
会員数　74名
支部会費　2000円（2000年度）

事業報告
4月2日　通常総会に出席
4月24日　支部総会
講演会「源氏物語の女性たち」窪田信子会員
5月11日　新旧役員親睦会
5月20日　セミナーのための学習会開始　9回開催　テーマ「男女共同参画社会基本法条例化の試み」
男女共同参画社会基本法に準じ、地域の特性を活かした静岡県の条例試案を作成し県に提案する。
責任者　庄司智恵会員
6月22日　親睦会　静岡「葵博」見学と大御所弁当会食
7月30日　静岡県主催「ふじのくに男女共同参画の日」参加
公開講演会「男女共同参画基本法条例づくりに向けて」ー国連特別総会「女性2000年会議」から地域へー
講師　橋本ヒロ子氏　十文字学園女子大学教授
8月21日　静岡県女性総合センター交流会議主催「交流会議2000」参加
9月15日　国内奨学生に2名の応募があり、国内奨学委員会へ推薦　静岡大学大学院　関口裕香さん採用される。
10月14、15日　全国セミナーに参加　庄司智恵会員発表
10月31日　試案「静岡県男女共同参画社会推進条例」を県へ提出
12月8日　国政報告と全国セミナー報告会
衆議院議員上川陽子・庄司智恵会員
12月26日　北川副知事と条例試案について話し合い
1月9日　男女が共に創るしずおか推進懇話会傍聴
議事「静岡県の男女共同参画に関する条例案の骨子」について
1月13日　静岡県の男女共同参画を推進する条例についての意見交換会参加
1月23日　静岡県女性総合センター主催「静岡県知事と語る会」参加
1月27日　支部新年会
2月17日　講演会「中国人から見た日本文学」
講師　湯薇薇氏
3月17日　講演会「フランス人青年お遍路を行く」
講師　フランソワ・デルヴァー氏
◎対外活動・その他
＊静岡県女性総合センター交流会議、静岡県女性団体代表者会議、ユニフェム国内会議所属
＊曹洞宗国際ボランティア会、シャプラニール（市民による海外協力の会）支援
＊楽寿の園奉仕　毎月1回
＊役員会　隔月開催
＊支部だより発行

事業計画（2001年度）
4月　支部総会にて決定

愛知支部　泉　ひさ
会員数　61名
賛助会員　2名
支部会費　2000円（2000年度）

事業報告
4月2日　通常総会出席
4月23日　支部総会
講演「遺跡に感動を求めて52カ国の旅の中から」
講師　佐光亜紀子氏
洋画家
5月21日　第1回例会
講演「人口教育促進とJICAの国際技術協力」ートルコ共和国を事例としてー
講師　伊佐治大陸氏
名古屋女子大学教授
6月25日　第2回例会
講演「HIVカウンセリング」ー変還とチームワークー
講師　金子寿子氏　HIVカウンセラー
7月30日　第3回例会
講演「男女共同参画社会」ーアメリカに学ぶものー
講師　岩野一郎氏
南山大学教授
9月24日　第4回例会
講演「父子の決定について」
講師　松倉耕作氏
南山大学教授
10月14、15日　全国セミナーに参加および研究発表
研究テーマ「ジェンダー・フリーな職業意識のための序曲」
発表者　片岡由美子会員（若手研究会員）
11月17日　研修旅行　総本山信貴山大本山玉蔵院、旧斑鳩御所中宮寺、法隆寺東院伽羅（夢殿）
12月10日　能・狂言鑑賞会
能　松風、狂言　人を馬
1月14日　新年会　薬膳会
席、福引きプレゼント
2月18日　第5回例会
奨学生の研究発表
題目「現代社会における文学の役割」
発表者　南山大学英文学科4年生山田幸代さん（社会福祉奨学金受賞者）
題目「メアリー・シェリーとフランケンシュタイン」
発表者　南山大学大学院文学研究科　山崎僚子さん
題目「身体と心の社会学」ー身体を研究する重要性ー
発表者　名古屋大学大学院人間情報学研究科　堀田裕子さん
全国セミナー報告
3月18日　愛知支部役員会
その他
＊名古屋市男女共同参画推進会議参加
＊17TH国際協力ふれあいフェスティバル2000参加
＊JAUW愛知支部ニュース（7回発行）

事業計画（2001年度）
4月22日　支部総会で決定

岐阜支部　松井　恵美
会員数　10名
支部会費　2000円（2000年度）

事業報告
5月20日　支部だより発送
6月17日　支部総会
6月30日　JAUW会報と支部だより発送
7月10日　岐阜県男女共同参画のための資料入手
8月15日　支部だより発送
岐阜市の男女共同参画のための資料入手
10月21日　支部勉強会
演題「保育・教育の中のジェンダー」
講師　古川芳子氏
中部学院大学教授
12月1日　勉強会講演要旨をまとめ会員に配布
1月15日　新年支部だより発送
2月15日　JAUW会報と支部だより発送
3月13日　親睦会

事業計画（2001年度）
5月　支部総会
10月　勉強会
3月　親睦会

金沢支部　山村　福子
会員数　43名
支部会費　2000円（2000年度）

事業報告
4月2日　通常総会出席
5月27日　研究会「国の安全　公共の安全」
講師　古市達郎氏
金沢工業大学客員教授
7月2日　支部総会
9月15日　敬老の日に80歳以上の会員にお祝いの品を贈る。
10月14、15日　全国セミナーに参加
10月28日　タイ旅行の説明会
11月19～24日　「タイ国訪問ボランティアの旅」12名参加　毎年奨学金を送っているバンコクの財団を訪ねて里子達と交流、スラム見学　次いでカンチャナブリの児童福祉施設を訪問し、子供達と生け花、お茶、水墨画、折り紙で交流の後、施設付属の農園などを見学した。
11月26日　講演会「インドと日本から21世紀の世界へ」
講師　ナルラインディル・モハン博士（石川日印協会と共催）
12月9日　研究会　タイ旅行の報告会をかねてタイ国の歴史、文化、生活習慣など学ぶ。
当日、石川県手をつなぐ育成会と石川県肢体不自由児協会へ年末寄付金を贈る。
1月18日　金沢国際交流団体連絡会に代表出席
2月18日　新年会　金沢大学留学中のモンゴルの女性を招き昼食後、彼女の民族楽器演奏を聞く。当日、1999年から始めたインド・カシミール地方への「KJS奨学金」の事が、1月5日付の新聞に大きく報道されたのを機に、この活動を進めることを改めて確認する。
3月末日　タイ＝バンコクのドゥアン・プラティープ財団へ奨学金を贈る。

事業計画（2001年度）
5月　研究会
7月1日　支部総会
9月15日　敬老の日に80歳以上の会員にお祝いの品を贈る。
9月　研究会
11月　研究会
12月　年末寄付を募り、例年通り2団体へ贈る。
2月　新年会
3月末日　タイ＝バンコクのドゥアン・プラティープ財団へ奨学金を贈る。

福井支部　木村　温美
会員数　5名
支部会費　1000円

京都支部　益田　圭子
会員数　91名
支部会費　2000円（2000年度）

事業報告（2000年度）
4月2日　通常総会出席
4月22日　支部総会
講演「日本の科学と欧米の科学」
講師　杉山武敏氏
滋賀県立成人病センター総長
5月23日　例会　美術観賞「日蘭交流400年記念特別展」ーオランダ王室知られざるロイヤル・コレクションー
解説　永島明子氏
学芸員
7月8日　例会
講演「ルネサンスの子供達は何を見て育ったか」
講師　岡田温司氏
京都大学助教授

9月23日　国内奨学生選考：9大学より11名応募
9月30日　例会
講演「ジェンダーで読む女性の歴史」
講師　田端泰子氏
京都橘女子大学教授
10月5日　来日中のマリオン・モール氏（イギリス会員）と支部交流
10月14、15日　全国セミナーに参加
10月26日　例会　全国セミナー報告
スウェル・陽子氏（オーストラリア会員）を囲み支部交流、懇話、例会後、ミニバザー開催
11月25日　例会
講演「フェノロサ夫妻と京都」
講師　村形明子氏
京都大学教授
1月27日　新年会
講題「歌心を育んで」―フランス歌曲を歌う―
講師・独唱　粂田倫子氏
京都女子大学名誉教授
1月17、23日　京都府知事・京都市長・京都府女性政策課に要望書提出
1月24日　奨学生に奨学金、賞状を贈呈
3月10日　例会　山本和代会長を迎えて懇談
事業計画（2001年度）
4月21日　支部総会
役員交代につき、総会以降の運営方針は次期役員が決定

奈良支部

水上　戴子

会員数　62名
支部会費　1000円
事業報告（2000年度）
4月2日　通常総会　奈良で開催
5月6日　役員会
6月10日　支部総会
講演と実技指導「介護保険の上手な活用と介護のワンポイント」
講師　古川佳要子氏
奈良佐保女学院短期大学講師
8月4日　スポーツとレクリエーションの会「心と身体のリラクゼーションのために」
9月20日　国内奨学生候補者推薦
10月14日　音楽鑑賞会
第13回奈良大学コンサート「フランツ・リスト室内管弦楽団」
2月2日　新年のつどい
支部奨学金授与式・講演会「ミ語法について」
講師　奈良女子大学大学院人間文化研究科　比較文化学専攻　松浦清美さん
「江戸時代の農具に関する研究」
講師　奈良大学文学部史学科　柴田英永さん
2月2日　役員会
◎その他
＊奈良県男女共同参画推進協議会事業計画・実施への参加
6月7日　第1回総会
7月31日　第1回事業実行委員会（以後5回）
1月27日　平成12年度男女共同参画プラザ実施
(1) 男女共同参画社会の地域と職場に関するアンケート調査報告
(2) 講演「女性が男性と共に創り上げる21世紀をめざして」
講師　鈴木光司氏　作家
事業計画（2001年度）
4月下旬　支部総会
講演会及び見学会を例年どおり3～4回開催予定
支部総会で選出される新役員により、役員会で決定

大阪支部

西野　博子

会員数　81名
支部会費　2000円
事業報告（2000年度）
4月2日　通常総会出席
5月1日　支部総会
5月27日　5月例会
歴史散歩
大阪市平野区周辺　灌漑集落跡、杭全神社、連歌所、融通念仏宗総本山大念仏寺、長宝寺等の見学
講師　長山雅一氏　流通大学教授・都市研究家
6月17日　6月例会
研修会「女性と職場」を考える「私の会社生活38年」
講師　本田元子氏
元㈱松下電器産業SE研究所長
7月11日　7月例会
研修会「児童虐待の現状と解決策」
講師　青木直子氏
大阪市児童センターケースワーカー
9月26日　「奈良・大和路」バスツアー
大和路の散策と山田寺跡・橘寺・犬養万葉記念館等の見学
10月11日　10月例会
研修会「ドメスティック・バイオレンスと幼児虐待」
講師　松島律子会員
10月14、15日　全国セミナーに参加
研究テーマ　「一家庭教育にその原点を求めて―ドメスティック・バイオレンスと幼児虐待」
松島律子会員の発表
11月22日　鑑賞会
能と狂言の鑑賞会
11月28日　11月、12月例会
教養講座「水墨画」千支年賀状つくり
講師　西浦布容子氏
1月　支部会報の発行
1月29日　1月例会
懇親新年会
新入会員との親睦と会員増強に向けて
2月17日　2月例会
教養講座「日本の花とヨーロッパの花」
講師　中岡博美氏
園芸家
3月10日　3月例会
研修会「今どきの子ども」
講師　平敷允子会員
元大阪市立中学校長・現羽曳野市教育委員
◎その他主催行事
＊英語研修セミナー（2回）
＊俳句の会など趣味の会も企画
事業計画（2001年度）
4月　支部総会
5月　歴史散歩
6月　研修会（女性と法）
10月　親睦バスツアー
11月　研修会と能楽鑑賞会
12月　教養講座
＊その他についても3月の役員会で原案を検討し、詳細について決定

神戸支部

加藤　啓子

会員数　160名
支部会費　2000円
事業報告（2000年度）
4月2日　通常総会出席
4月15日　支部総会
5月18日　宇治方面へバスツアー
6月17日　講演「介護保険と老人介護」
講師　北畑英樹氏
精神科医
7月15日　講演「判断能力の不十分な老人の権利をどう擁護するか」
講師　榊原恭子氏
弁護士
8月　全国セミナー発表に先立ち高齢者の人権に関するアンケートを実施
9月22日　高齢者のケアハウス見学
10月7日　フリーマーケット出店（芦屋市女性センター主催）
10月14日　全国セミナー参加　三木谷節子会員発表
10月15日　フリーマーケット出店（芦屋市社会教育協議会共催）
11月16日　ランチ＆コンサート
12月16日　全国セミナーでの支部発表報告と会員親睦会
1月20日　講演「正岡子規没後百年にあたって」
講師　和田克司氏
大阪成蹊女子短期大学図書館長教授
2月17日　講演　プロに学ぶ楽しいクッキング
講師　荒木廣夫氏
ロシア料理レストラン「キエフ」料理顧問
◎その他
＊毎月役員会を開催し「支部だより」を発行
＊ビーナ・ロイ基金継続
＊同好会として月一回の読書会とダンス同好会を実施
事業計画（2001年度）
ビーナ・ロイ基金と同好会など従来のものは継続予定
＊来年度の通常総会に向けての準備に取り組む。

岡山支部

寺元美保子

会員数　66名
支部会費　2000円
事業報告（2000年度）
4月2日　通常総会出席
4月8日　さんかく岡山オープン記念イベント
4月11日　海外経済人交流会
5月14日　支部総会
5月17日　ITCシンポジウム「皆で考える男女共同参画社会」
6月28日　第1回例会
岡山済生会ライフケアセンター見学
8月19～25日　国際アンデルセン賞・オナーリスト図書展（このための準備会3回）
猪熊葉子講演会（子供を物語の世界に誘うもの）
9月15、16日　第2回例会
国際貢献フォーラムin岡山
10月14、15日　全国セミナーに参加
10月28日　「外国人による日本語弁論大会」のためのバザー
11月13日　「外国人による日本語弁論大会」のための宣伝出演
11月23日　「外国人による日本語弁論大会」のためのケーキ焼き
11月26日　第17回「外国人による日本語弁論大会」
1月20日　第3回例会
新年親睦会
3月20日　第4回例会
講演「女性と経済」
講師　工藤賢二氏　大蔵省岡山財務事務所所長
事業計画（2001年度）
5月　支部総会
11月　第18回「外国人による日本語弁論大会」
＊支部例会4回開催（6月・9月・1月・3月）

広島支部

舟橋　喜恵

会員数　36名
支部会費　2000円
事業報告（2000年度）
1．**JAUW関係**
4月2日　通常総会出席
4月22日　支部総会
7月15日　第1回例会
講演会「介護保険の現状と問題点―介護支援事業の実践を通して」
講師　吉田収一氏
あんしん介護支援サービスセンター理事長
10月14、15日　全国セミナーに参加
11月4日　第2回例会
講演会「わたしの仕事―国際交流から児童虐待防止法まで」
講師　後藤恵津子会員
1月21日　第3回例会
新年会
3月10日　第4回例会
2．**広島県女性会議・広島市女性団体連絡会議・すすめる会その他各種団体関係**
5月6日　広島県の女性の地位向上と社会参画をすすめる会第1回全員会・懇親会（9／16第2回）
5月13日　広島市婦人教育会館婦人団体・グループ連絡会代表者会議（総会）（9／16第2回）
5月20日　第1回広島県女性会議マスコミモニター委員会（以後5回）
5月27日　広島市女性団体連絡会議総会・懇親会
7月8日　広島県環境生活部青少年女性課との懇談会「広島県の女性施策について」（すすめる会主催）
7月8日　第37回広島市婦人教育会館婦人団体・グループ交流会
講演会「女性のパワーが地域社会を変える―女性の参画を変革につなげるために」
講師　船橋邦子氏
大阪女子大学教授
7月15日　「平和のための女性ワークショップinNew York」報告会
7月19、20日　第12回男女参画フォーラム第4分科会
7月29日　「ヒロシマ平和の灯」（広島市女性団体連絡会議主催）
10月21日　ふれあいフォーラム―環境にやさしい暮らし方を学ぶ（県女性会議主催）
講師　薦田直紀氏
㈶広島県環境保健協会地域活動支援センター長
11月10、11日　日本女性会議2000 in 津（環境分科会）
11月17日　広島県議会議員との懇談会「男女共同参画社会基本法に基づく条例づくりについての考え方」（県女性会議主催）
11月18日　県男女共同参画社会づくりセミナー「トーク＆シネマ男女（ふたり）からはじめよう」（広島市女性団体連絡会主催）
11月21、22日　「女性とメディアのいい関係」シンポジウム　広島市婦人教育会館婦人団体・グループ連絡会交流会
3月10日　すすめる会20周年記念事業（家田荘子氏講演会・ワークショップ開催）
事業計画（2001年度）
4月28日　支部総会
＊支部例会を4回開催予定

山口支部

松岡　静子

会員数　13名
支部会費　2000円
事業報告（2000年度）
4月2日　通常総会出席
5月27日　支部総会
6月1、2日　NO_2による大気汚染度測定（夏）
7月29日　第1回支部例会
熊本県伝統工芸館見学
10月14、15日　全国セミナーに参加
11月19日　第2回支部例会
熊本市島田美術館見学、高見夏恵子会員（元支部長）追悼会
新入会員紹介、本部よりの文書等配布・回覧
11月30～12月1日　NO_2による大気汚染測定（冬）
2月25日　第3回支部例会
国際交流をテーマに講演「ラオス・タイを中心とするアジア情勢」
講師　坂井弘臣氏
元外交官
事業計画（2001年度）
1．5月上旬支部総会
2．NO_2大気汚染度全国一斉測定協力
3．例会の実施3回（学習会、国際交流など）

愛媛支部

池川　順子

会員数
支部会費　3000円
事業報告（2000年度）
4月2日　通常総会出席
5月13日　支部総会
講演会「女性と免疫」
講師　江崎一子氏　別府大学短期大学部教授
10月6日　ルーミィ氏シャンソンコンサート（国境なき医師団の一員として活躍した医師ルーミィ氏のコンサートを大分日仏協会と協力して開催）
11月20日　九州女性会議に出席
12月14日　研修会「モンペリエ第三大学教授アニー・フランス・ロランス氏を囲んで」
12月16日　講演会「古代ギリシャの女性達」
講師　アニー・フランス・ロランス氏　モンペリエ第三大学教授
通訳　支部長井上富江
別府大学教授

高知支部

井上　富江

会員数　22名
支部会費　3000円
事業報告（2000年度）
4月2日　通常総会出席
5月27日　支部総会
6月1、2日　NO_2による大気汚染度測定（夏）
7月29日　第1回支部例会
熊本県伝統工芸館見学
10月14、15日　全国セミナーに参加
11月19日　第2回支部例会
熊本市島田美術館見学、高見夏恵子会員（元支部長）追悼会
新入会員紹介、本部よりの文書等配布・回覧
11月30～12月1日　NO_2による大気汚染測定（冬）
2月25日　第3回支部例会
国際交流をテーマに講演「ラオス・タイを中心とするアジア情勢」
講師　坂井弘臣氏
元外交官
事業計画（2001年度）
1．5月上旬支部総会
2．NO_2大気汚染度全国一斉測定協力
3．例会の実施3回（学習会、国際交流など）

大分支部

佐方　宏子

会員数　27名
支部会費　2000円
事業報告（2000年度）
4月2日　通常総会出席
5月27日　支部総会
6月1、2日　NO_2による大気汚染度測定（夏）
7月29日　第1回支部例会
熊本県伝統工芸館見学
10月14、15日　全国セミナーに参加
11月19日　第2回支部例会
熊本市島田美術館見学、高見夏恵子会員（元支部長）追悼会
新入会員紹介、本部よりの文書等配布・回覧
11月30～12月1日　NO_2による大気汚染測定（冬）
2月25日　第3回支部例会
国際交流をテーマに講演「ラオス・タイを中心とするアジア情勢」
講師　坂井弘臣氏
元外交官
事業計画（2001年度）
1．5月上旬支部総会
2．NO_2大気汚染度全国一斉測定協力
3．例会の実施3回（学習会、国際交流など）

熊本支部

和栗　方子

会員数　39名
支部会費　3000円
事業報告（2000年度）
4月2日　通常総会出席
4月22日　支部総会
5月8日　講演会「韓国留学体験から」
講師　金子満氏
5月13日　「祭りアミカス2000」の説明会参加
5月27日　例会
講演会「韓国における現代社会の構造と男女問題に対する一考察」
講師　金子　満氏
6月24日　例会
敬老祝賀会「80才以上の会員5名をお招きして」
8月1日　例会
講演会「韓国領事と語る」―韓国の教育と近代女性の活動―
講師　李　南教氏
8月17日　福岡市暴力追放推進協議会参加
10月1日　例会　バスツアー「中世の貿易都市平戸を訪ねる」
10月21、22日　フォーラム参加「創ろう女性とメディアのいい関係」
11月10日　婦人会館フェスタ2000参加
講演会「現代の少年非行を考える」
11月18日　例会　留学生との交流会　中国健康体操の体験学習及び、卓話
11月20日　女性2000年会議記念シンポジウムin九州参加
「男女共同参画の21世紀を目指して」
1月28日　例会　新年会
タイ留学生　ラカンオーラン・パトゥンポンさんを囲んで
2月25日　例会
卓話「21世紀と家庭」李南教氏　韓国領事
3月10日　例会
講演会「ITについて」
講師　雨宮真人氏
九州大学教授
事業計画（2001年度）
4月の支部総会で決定

長崎支部

河村紀美子

会員数　7名
支部会費　未定
事業報告（2000年度）
4月2日　通常総会出席
10月15日　長崎市女性議会一日議員に参加
事業計画（2001年度）
5月　支部総会　支部長交代年度
＊会員拡大のためのPR活動

鹿児島支部

大久保美智子

会員数　1名

はじめて総会に出席して

東京支部　相馬房子

私は昨年大学婦人協会に入会させていただき、今回はじめて総会に出席いたしました。

形式的なものになり勝ちな総会が多い中で、しっかりとした目的意識のもとに活動を続ける大学婦人協会らしく、随所に熱意と活気が感じられました。

各支部長の皆様の熱心な活動報告からは、いかに協会の活動を大切にされ、様々な工夫に心を砕いていらっしゃるかが伝わってくるようでした。

長時間にわたる会議にもかかわらず、きびきびと進行される山本会長をはじめとする理事の皆様はもとより、出席者の方々も極めて熱心に参加されているのに驚かされました。

活発に出される質問と適格な返答のやり取りは、会の積極的で意欲的な姿勢を物語るものでした。

大学婦人協会が、今後も各国のIFUW会員と共に女性の地位向上などに力を尽くし、日本での牽引力の一端を担うことを確信させるエネルギーを、直接感じ取ることのできた総会でした。

また、会報やセミナー報告書に関するご意見が出された折に、非常に熱心に、丁寧にお読みくださっている方々がいらっしゃることを知り、広報委員会の一員としてたいへん励みになる、嬉しいひとときでもありました。

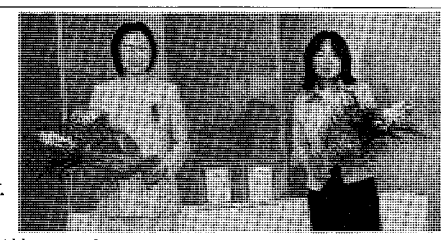
守田科学研究奨励賞受賞者論文概要

フラストレーションが内在する磁性体における磁気相転移の研究

理化学研究所磁性研究室先任研究員　香取浩子

磁性体の性質はその物質を構成する原子磁石、すなわち磁性原子が持つスピンの配列の仕方に大きく左右される。この磁性体が示す現象の中で特徴的なのは磁気相転移現象である。これは、原子磁石（スピン）が熱的に揺らいだ無秩序な状態から、ある規則性をもって整列した秩序状態に変化する現象を指し、自然科学の分野で広く観測される協力現象の典型例である。磁性体ではスピン間に働く力（相互作用）の種類によって様々な秩序が形成される。しかし、隣り合った複数のスピンとの間の相互作用が競合する場合、スピンがどちらを向いてもすべての相互作用を満足させることができない状況が生じる。このような状況を“フラストレーション”と呼ぶ。本来“フラストレーション”は「欲求不満」という心理状態を指す言葉であるが、1977年から物性物理学の世界でも用いられるようになった。フラストレーションが内在していながらある種の秩序を形成することが、このような磁性体の興味深い点である。

フラストレーションが内在する磁性体には、フラストレーションとランダムネス（乱雑さ）とが存在する物質と、フラストレーションのみが存在する物質とがある。前者の代表的な物質、スピングラス（spin glass）は、競合する相互作用がランダムに分布するために、スピンが規則的に配列することができずにランダムな方向に凍結する磁性体のことである。我々は絶縁体化合物$Fe_xMn_{1-x}TiO_3$について時間・空間スケールの異なる測定手段を用いた実験的研究を行い、この物質が典型的なスピングラス・リエントラントスピングラスの振る舞いを示すことを見出した。現在、$Fe_xMn_{1-x}TiO_3$は理論で詳しく調べられているイジング型の磁気異方性を強く示す標準的な物質として実験及び理論の双方から世界的に注目されている。一方、ランダムネスのない純物質でありながらフラストレーションが存在する磁性体$FeBr_2$やFeI_2において、これまで知られていなかった新しいタイプの磁場誘起相転移が起こることを発見した。この転移の出現にはフラストレーションの存在が不可欠と考え、理論的な考察も行った。**写真＝香取博士（左）**



植物のカフェイン生合成系の制御機構に関する研究

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科助教授　加藤美砂子

カフェインに代表される生理活性プリンアルカロイドは茶やコーヒーなどに含まれる物質としてよく知られている。眠気覚ましにお茶やコーヒーを飲むのは、カフェインに中枢神経の興奮作用があるためである。カフェインは有名な物質であり、人体への生理作用を考える研究は非常に多い。しかし、植物の細胞の中でカフェインがどのようにして合成されるかという視点からの研究は数少ない。

緑茶の原料である若葉では活発にカフェインが合成されているが、葉が大きく広がり生長していく過程で、カフェイン合成能は急激に低下する。このようなカフェイン生合成がどのように制御されているのかを考えるための一つのアプローチとして、カフェインが合成される過程でメチル基をつける酵素に着目した。カフェインは、キサンチンに三つのメチル基がついた、1，3，7-トリメチルキサンチンである。植物の中では、キサンチン骨格のN-7位、N-3位、N-1位の順にメチル基がつくことが知られている。このN-3位とN-1位にメチル基をつける酵素は同一であることをつきとめ、その酵素を活性の保持された単一の状態で取り出すことに成功し、カフェインシンターゼと命名した。

カフェインシンターゼは酵素タンパク質である。タンパク質は遺伝子であるＤＮＡに書き込まれた塩基配列の情報を、mRNAに転写され、mRNAの情報に基づいて20種類のアミノ酸が順序正しく結合して合成される。カフェインシンターゼのアミノ酸配列を分析し、それを手がかりにして、カフェインシンターゼをコードする遺伝子*TCS1*を単離した。そして、葉の生長に伴うカフェイン生合成能の低下は、*TCS1*の転写が減少によることを示した。また、この成果を応用することにより、カフェインのないお茶やコーヒーの作出が可能になった。**写真＝加藤博士（右）**

《支部だより》

新潟支部長　小林裕子

☆形になった「幸せの箱」

「奨学賞を贈る会基金」に類のない支部活動の成果を取り崩さないでこの会が継続できるようにと知恵を出し合い考えたとき、会員それぞれが、幸せの日を迎えた時（誕生日、結婚記念日、孫の誕生……など）小箱にコイン程度の寄付をしてはどうかと提案されました。賛同を得て、財務部手づくりの「幸せの箱」ができました。今、この小箱は毎月、例会の机上でみんなの幸せを見守っています。であり、新潟県教育の歴史に刻まれております。その後、昭和53年度には、四年制女子大学への昇格をめざして期成同盟会を結成しましたが、この事業は進展しませんでした。

この度、平成11年度に県が提示した「新潟県長期総合計画構想素案・にいがた未来戦略」の検討がすすめられる中で、同窓会ほか各女性団体と連携して、県知事はじめ関係行政機関や県議会議員などに四年制化の要望書を提出。世論形成のためのシンポジウムを開催。諸先輩の活動の積み重ねがありましたので、大学当局、有職者、マスコミ関係者ほか多くの方々のご指導やご支援をいただいて活動をいたしました。２００１年２月、定例県議会で県総務部文書学事課に「県立大学設置検討班」の設置が決定し、予算が計上されました。

☆県立新潟女子短期大学の四年制化へ

昭和30年、新潟県の女子高等教育の遅れに対応するため、支部事業計画に「女子短大設置促進運動」を掲げ、活動が始められました。その後も精力的にこれを推進、県・市の関係当局を動かし、世論を喚起し、曲折を経て昭和38年に県立新潟女子短期大学が開学したのでした。このことは他

新入会員（24名）2001年4月～6月　理事会承認

茨城支部

ティン・ティン・トゥン（ヤンゴン・筑）　305-0005　つくば市天久保２－１－１　外国人教師宿舎101号

東京支部

牛山通子（日女）　179-0073　練馬区田柄４－２－12
大島杏子（東女）　185-0024　国分寺市泉町２－４－１－501
賀集イレーネ（ブエノスアイレス国大）　162-0836　新宿区南町34－２－503
岸　悠紀子（金城）　272-0114　市川市塩焼４－10－３－316
辻井由里子（立正）　190-0012　立川市曙町３－47－17
利重敦子（青学）　248-0035　鎌倉市西鎌倉３－２－28
長谷川千恵子（津）　177-0041　練馬区石神井町８－40－21
本間紀子（実）　246-0023　横浜市瀬谷区阿久和東２－12－１
三浦洋子（実・慶）　183-0004　府中市紅葉丘３－５－３　メゾン峰201
柳田芳子（実）　229-1116　相模原市清新７－８－５

愛知支部

島　けい子（南山）　453-0801　名古屋市中村区太閤１－16－11
竹下修子（金城）　462-0853　名古屋市北区志賀本通１－38－1902
松野和子（南山）　478-0016　知多市梅が丘２－８

福井支部

野波比逹子（仏教大）　914-0802　敦賀市呉竹町１－７－８

大阪支部

石橋史子（福女）　563-0032　池田市石橋４－23－８

神戸支部

岩城尚子（奈女）　659-0032　芦屋市浜風町24－９
阪本洋子（京府）　666-0021　川西市栄根２－１５－７
西田利江子（関学）　658-0073　神戸市東灘区西岡本１－10－28　メゾン本山402
樋口由美子（奈女）　659-0042　芦屋市緑町７－１
松村和子（同女）　663-8032　西宮市高木西町19－44

福岡支部

井上弘子（青学）　750-0006　下関市南部町７－６
蒲池孝子（日女）　810-0012　福岡市中央区白金２－５－24
奇　恵英（九州）　812-0053　福岡市東区箱崎５－11－１－108

2001年度 委員会名簿

【財務委員会】
委員長　藤谷文子
相田志都江　芥川妙子
阿南糸代　井口美登利
市川知恵子　江口昌子
大森たへ子　奥津成子
加藤文子　金子京子
川田ひろ　北村和子
熊切富子　駒木三枝子
小宮礼子　斉藤智恵
坂井英子　佐々木洋子
柴崎富子　鈴木美代子
鈴木行子　住友千代子
関口瑞穂　高林益江
太刀川洋子　中山正子
中山律子　羽山昭子
待場田鶴子　松村美枝子
山崎邦子　山村敬子

【国内奨学委員会】
委員長　金子堯子
上野郁子　牛山通子
上山民栄　小西厚子
坂上栄美子　清水敬子
玉井美枝子　辻英子
平石妙子　牧久恵
村岡全子

【国際奨学委員会】
委員長　宮島茂子
阿部幸子　有澤公
井上章子　菊池薫
楠明子　五味澄子
酒葉美智子　千葉恵子
利重敦子　永野善子
西尾順子　根岸愛子
廣田貞子　山中照子

【科学研究奨励委員会】
委員長　島美喜子
井上久仁子　岩村道子
大野涼　加藤恭子
熊谷晶子　時枝裕子
丸山庸子　村岡全子
室伏きみ子　八木江里
山中照子

【国際委員会】
委員長　平野和子
穐田信子　伊藤俊技
小野恭子　五味澄子
斉藤智恵　高田素子
高野映子　千葉恵子
中村ミチコ　平川敦子
平田宏子　福田文子
房野桂　藤田道子
増渕民子　待場田鶴子
溝渕ひろ子　宮下好子

【国内ＮＧＯ委員会】
委員長　五十嵐康子
江尻美穂子　海老原典子
鍵山祐子　片岡貴美子
菊池壽美子　斉藤加代子
白井典子　田中トモ子
旦節子　手島有哉子
仲町和子　中村ミチコ
野崎方子　野田紀代子
林依里子　房野桂
松鹿光　松比良節子
丸山庸子　峯川正子
望月浪江　矢鋪真澄
横橋貴子　若井綾子

【教育委員会】
委員長　藤村久美子
有本玲子　伊藤めぐみ
大森たへ子　川村美紀
田中正子　橋本慶子
平田宏子　福田文子
武藤亜希子　山澤和子

【女性の地位委員会】
委員長　鈴木伸子
飯田寛子　海老原典子
静間敏子　白井典子
杉森長子　高田素子
土屋和子　増渕民子
松浦千誉　松比良節子
村田鈴子　森山智可
山谷真名　若井綾子

【社会福祉委員会】
委員長　玉井美枝子
阿部裕子　井口美登利
石渡和実　伊藤智恵子
大島真理子　奥原美恵子
駒木三枝子　鈴木光子
高岡眞佐子　中平玲子
縄田真紀子　吉原雅子

【広報委員会】
委員長　鷲崎千春
奥田順子　尾上夏子
木村和子　鈴木光子
相馬房子　成田廸子
日置惠子　藤田典子
松本佳子　山内弘子
横橋貴子

【会員委員会】
委員長　秋月薫
磯村明子　菊地晴子
後藤晶子　斎藤由美子
庄司ヨシ　西田節子
橋本津栄子　福田満代
堀口裕子　溝渕ひろ子
三森紀子　村松育子
山下靖子　吉村光代

第4回大学婦人協会守田科学研究奨励賞

受賞候補者募集要項

趣旨：本賞は化学教育者、故守田純子氏から女性科学研究者育成のためにと遺贈された資金を基にして、自然科学を専門とする女性科学者の研究を奨励し、科学の発展に貢献する人材を育成することを目的として設けられたものです。

対象：自然科学分野において、優れた研究成果をあげており、科学の発展に貢献することが期待される40歳未満（応募締切日現在）の女性科学者を対象としています。

受賞件数：年２件以内
賞状および副賞30万円を贈呈します。

提出書類：１．推薦状、２．履歴書(写真添付)、３．研究業績リスト、主要な論文別刷、４．研究題目とその概要および今後の展望・抱負等（Ａ４版１～２頁程度内に記したもの）

応募締切日：2001年11月30日(金)（必着）

書類送付および連絡先：社団法人　大学婦人協会
〒160-0017　東京都新宿区左門町11番地６の101
TEL：03-3358-2882　FAX：03-3358-2889

第3回 大学婦人協会 守田科学研究奨励賞 贈呈式

科学研究奨励委員長　島　美喜子

第3回守田科学研究奨励賞の贈呈式が5月19日、アルカディア市ヶ谷で行われた。

受賞者は理化学研究所磁性研究室先任研究員の香取浩子博士（物性物理学）と、お茶の水女子大学大学院人間文化研究科助教授の加藤美砂子博士（植物生理学）である。式のあと、香取博士は磁性体における磁気相転移現象について、加藤博士は植物のカフェイン生合成の制御機構について、それぞれ、その研究の一端を話された。

香取博士は1984年にお茶の水女子大学理学部物理学科を卒業後、同大学院博士課程を修了、東京大学物性研究所助手を経て、1995年に理化学研究所磁性研究室に移り、1998年に先任研究員に昇任、現在に至っている。また、1998年10月以来、埼玉大学大学院理工学研究科の客員助教授を兼任、学生の指導、教育にも当たっている。

加藤博士は1983年にお茶の水女子大学理学部生物学科を卒業後、同大学院修士課程および東京大学大学院理学系研究科博士課程を修了。東京大学医科学研究所文部技官、海洋バイオテクノロジー研究所研究員を経て、1995年お茶の水女子大学理学部助手、1999年同大学院人間文化研究科助教授に就任し、現在に至っている。

香取博士、加藤博士のお二人とも将来、益々の発展が期待される科学者であり、最もふさわしい方々に第3回科学研究奨励賞を贈ることができたことは誠に喜ばしい。

当日の会には、お茶の水女子大学の本田和子学長はじめ、伊藤厚子・清水硯両お茶の水女子大学名誉教授、山田晃弘東京大学名誉教授、後藤恒昭・宮下精二両東京大学教授、楠岡成雄日本数学会理事長、平川暁子放送大学教授、大隅正子日本女子大学教授、山本直樹・冨永靖徳・今野美智子各お茶の水女子大学教授等、多数の先生方がご出席になり、第1回と前回の受賞者、斎藤礼子東京工業大学助教授と浜崎浩子東京医科歯科大学助教授も見え、出席者60名を超える盛会であった。

（写真＝贈呈式）

2001年度 大学婦人協会国内奨学生募集要項

Ⅰ　応募資格

一般奨学生	文部省の認可する大学（短期大学を除く）の学部第３学年に在籍する女子学生、あるいは大学院に１年以上在籍する女子学生で、人物・学業ともに優れた者。
社会福祉奨学生	文部省の認可する大学（短期大学を除く）の学部・大学院に在籍する女子学生で、身体に障害があり、かつ人物・学業ともに優れた者。
安井医学奨学生	医学あるいは薬学などを専攻する修士課程２年以上の女子大学院生で、人物・学業ともに優れた者。なお本協会の会員であるか、または授与の時までに会員となること。

Ⅱ　奨学金支給額（年額）及び募集人員

一般奨学生	学部生	１人	８万円	５名
	大学院生	１人	１０万円	９名
社会福祉奨学生	学部生	１人	８万円	学部生、大学院生あわせて５名以下とする
	大学院生	１人	１０万円	
安井医学奨学生	大学院生	１人	３０万円	１名

備考　(1)　応募状況により奨学生の人数に多少変更もありうる。
(2)　奨学金のうち１０万円は本協会東京支部からの寄付による。

Ⅲ　提出書類

(1)　履歴書（市販のもの、写真貼付、自筆のこと）
(2)　大学婦人協会所定の奨学金交付調書（記入者は在学する大学の学長・学部長・学科長・指導教員のいずれかであること）
(3)　在学する大学の交付する学業成績証明書
(4)　小論文(下記のそれぞれの課題を１２００字〔ワープロ使用　Ａ４判　横書　４０字×３０行またはＢ５判４００字詰横書原稿用紙３枚〕以内にまとめること)
　一般奨学生および社会福祉奨学生
　　学部生　　自分の専攻分野と将来の希望について
　　大学院生　　修士論文または博士論文の計画と将来の希望について
　安井医学奨学生
　　大学院生　　自分の専攻分野と将来の展望について
(5)　所定の身体障害状況調書（社会福祉奨学生のみ）

Ⅳ　応募手続

応募希望者は、必要書類を所属大学の学長に提出すること。

Ⅴ　出願締切日

2001年９月10日(月)までに、東京都・千葉県・埼玉県及び沖縄県の大学は本協会本部に、その他の地域の大学は当該支部に書類を提出すること。(当日消印有効)

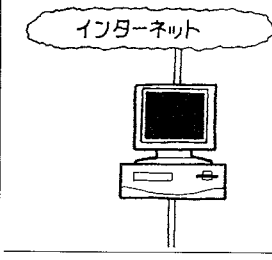
Ⅵ　選考方法

支部長宛に提出された書類は支部会で選考して、２名以上の場合は順位をつけて本部に提出する。
本部においては、提出された全ての書類を選考委員会で選考し、その結果を理事会にはかって決定する。
選考の結果は、推薦支部長、本人の在学する大学学長、および本人に通知する。

Ⅶ　その他

(1)　贈呈式は2002年１月初旬の予定（詳細は後日通知する）
(2)　不明の点については本部に照会のこと。

社団法人　大学婦人協会
会長　山本和代
国内奨学委員長　金子堯子
社会福祉委員長　玉井美枝子
〒160-0017　東京都新宿区左門町11番地６の101
TEL　03-3358-2882　FAX　03-3358-2889



ＪＡＵＷのホームページで委員会や支部の情報をゲット！

1．http://www3.tky.3web.ne.jp/~jauw/ を開く。
2．トップページの画面上で 組織 をクリックする。
3．委員会名・支部名の画面になる。
4．情報を知りたい委員会や支部をクリックする。

パソコンに興味のある方，入力作業にご協力いただけませんか。
本部までお問い合わせください。

平成12年度国庫補助事業

特別会計収支決算報告

特別会計：藤谷文子　江口昌子　中山正子　（単位：円）

収入の部

区分	予算額	決算額	備考
国庫補助金	1,760,000	1,760,000	
協会支出金	2,017,800	1,890,000	
セミナー参加費	450,000	499,000	3,000×159 2,000×7 1,000×8
懇親会費	480,000	464,000	4,000×116
銀行利息	200	636	
計	4,708,000	4,613,636	

支出の部

区分	科目	予算額	決算額	備考
補助対象経費	謝金	250,000	243,333	本部講師４名 支部・委員会講師３名
	旅費	450,000	517,730	講師、企画・実行委員、支部長、レポーター
	借損料	170,000	161,945	企画・実行委員会会場費、支部・委員会会場費
	消耗品費	200,000	194,915	事務用品、書籍、ワープロ用紙、リボン、テープ
	印刷製本費	1,530,000	1,574,510	セミナー要項、プログラム、報告書、報告書発送用封筒
	通信運搬費	780,000	664,684	支部・委員会連絡、セミナー報告書発送
	会議費	300,000	290,984	本部・支部・委員会会議費
	賃金	260,000	255,120	パソコン入力、翻訳料、アンケート集計
	雑役務費	270,000	229,545	コピー代、現像代、プリント代
	小計	4,210,000	4,132,766	
その他	懇親会費	480,000	464,000	4,000×116
	雑役務費	8,000	6,870	振込手数料
	賛助会費	10,000	10,000	(財)全日本社会教育連合会
	小計	498,000	480,870	
	計	4,708,000	4,613,636	

＊特別会計収支報告について
セミナー参加費、銀行利息等は直接特別会計で扱ったもので、本部会計には含まれません。
支出のうち、５支部の調査研究費は532,538円、４委員会の調査研究費は307,298円でした。
ご協力くださった支部、委員会にあらためて感謝いたします。

○監査報告　監査の結果、収入・支出ともにすべて正しく記録されており、間違いのないことを証明いたします。

平成13年３月27日

監事　藤﨑　久　根岸　愛子

エルサルバドル被災者キャンプの子どもたちへ毛布

◎通常総会でご協力いただいたエルサルバドル震災義援金（現金で160ドル）を、エルサルバドル大学婦人協会会長あてに送金。無事に受け取ったと連絡が入り、被災者キャンプの子どもたちに毛布をおくりたいと、温かい支援に感謝の言葉が述べられていた。

ＩＦＵＷ関係

◎若手会員育成金からオタワ総会への旅費を援助する若手会員として、次の３名が決定した。
森山智可会員(東京支部)、穐田信子会員(神奈川支部)、松野和子会員(愛知支部)
◎「ベースキャンプ２００１」に高田素子会員(東京支部)、「トレーニングキャンプ」には平野国際委員長と平川敦子会員（東京支部）が出席することに決定。

ＩＦＵＷのメンバーと楽しい交流がもてますことを期待しています！

５月理事会報告より

〔携帯・PHSも可〕 0120－76－1042　24時間営業
（会員制の葬儀の生前予約、入会金・年会費は無料）
よく生き　よりよい最期を……
◆自分らしい告別式・葬儀を依頼したい方（散骨・音楽葬・花祭壇）
◆独り暮らしでお困りの方
◆信頼できる相談者をご希望の方
どんな事でもヒューマニーサプライがお手伝い致します。
お気軽にお問い合わせ下さい。
http：//www. bl-net. com/ceremony
株式会社　セレモニー　ヒューマニーサプライ
〒104-0051　東京都中央区佃２－１－１－4502
HUMANY SUPPLY

2000年度　社団法人 大学婦人協会収支決算報告書及び貸借対照表

収支計算書

(2000年4月1日から2001年3月31日まで)

(単位：円)

料目	予算額	決算額	差異	備考
Ⅰ 収入の部				
1 基本財産運用収入	813,000	325,530	−487,470	
基金口座利息				
事業基金利息	350,000	135,668	−214,332	
ホームズ基金利息	13,000	6,331	−6,669	
国際奨学金基金利息	450,000	183,531	−266,469	
2 入会金収入	100,000	72,000	−28,000	
入会金	100,000	72,000	−28,000	72口(¥1,000×72)
3 会費収入	10,560,000	10,050,000	−510,000	
正会員会費収入	10,500,000	9,972,000	−528,000	1662口(¥6,000×1662)
賛助会員会費収入	60,000	78,000	+18,000	13口 (¥6,000×13)
4 補助金収入	2,000,000	1,760,000	−240,000	
国庫補助金収入	2,000,000	1,760,000	−240,000	
5 寄付金収入	2,305,500	3,577,990	+1,272,490	
会員その他寄付	2,305,500	3,577,990	+1,272,490	財務委員会 2,312,120円 東京支部より指定寄付 100,000円 リサイタル 1,115,870円 その他 50,000円
6 雑収入	1,491,500	1,682,491	+190,991	
受取利息				
運用財産利息	20,000	10,425	−9,575	
審査手数料	10,000	0	−10,000	
広告料収入	200,000	300,000	+100,000	
総会参加費	660,000	756,000	+96,000	¥3,000×252名
雑収入				
分担金	398,500	401,250	+2,750	東京支部より管理費分担
名簿	3,000	0	−3,000	
私用電話他	200,000	214,816	+14,816	
7 特定預金取崩収入	2,170,000	1,404,016	−765,984	
安井医学奨学金	320,000	301,055	−18,945	
守田科学研究奨励金	850,000	879,641	+29,641	
若手会員育成金	1,000,000	223,320	−776,680	
A 当期収入合計	19,440,000	18,872,027	−567,973	
B 前期繰越収支差額	8,800,000	9,600,001	+800,001	
C 収支合計(A+B)	28,240,000	28,472,028	+232,028	

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
Ⅱ 支出の部				
1 事業費	13,540,000	11,826,567	−1,713,433	
国庫補助事業	4,200,000	3,650,000	−550,000	
奨学金				
国内奨学金	1,300,000	1,300,000	0	10万×9名・8万×5名
社会福祉奨学金	400,000	320,000	−80,000	8万×4名
国際奨学金	450,000	621,280	+171,280	60万×1名R・パトゥンポン氏(タイ)
ホームズ奨学金	100,000	100,000	0	10万×1名
安井医学奨学金	320,000	301,055	−18,945	30万×1名
守田科学研究奨励金	850,000	879,641	+29,641	30万×2名
若手会員育成金	1,000,000	223,320	−776,680	研究費(愛知支部)
分担金				
IFUW・UWA会費	1,700,000	1,473,952	−226,048	12SF×1700名
IFUW関係連絡費	150,000	30,000	−120,000	
NGOその他	150,000	155,000	+5,000	
助成金				
IFUW寄付金	200,000	200,000	0	ビーナ・ロイPID基金へ
支部振興費	70,000	67,800	−2,200	
各委員会活動費	700,000	652,078	−47,922	
図書・資料	50,000	4,651	−45,349	
印刷製本費 名簿発行	0	0	0	
会報発行	1,500,000	1,478,400	−21,600	会報発行 198号〜201号
通信運搬費	400,000	369,390	−30,610	
2 管理費	5,600,000	5,640,977	+40,977	
給料・手当他				
給料・夏・冬手当	1,920,000	1,906,677	−13,323	
法定福利費	40,000	124,326	+84,326	
会議費				
総会費	1,500,000	1,747,218	+247,218	
理事会費	30,000	16,821	−13,179	
役員選考委員会費	0	0	0	
旅費交通費	80,000	81,840	+1,840	
通信運搬費	300,000	299,811	−189	
什器備品費	40,000	2,100	−37,900	
消耗品費	650,000	564,299	−85,701	
印刷製本費	200,000	144,641	−55,359	
負担金	270,000	265,200	−4,800	
光熱水料金	200,000	157,676	−42,324	
諸謝金	120,000	120,000	0	公認会計士謝礼
租税公課	150,000	126,700	−23,300	固定資産税
雑費	100,000	83,668	−16,332	
4 繰入金支出	100,000	0	−100,000	
事業基金繰入	100,000	0	−100,000	
5 予備費	200,000	0	−200,000	
予備費	200,000	0	−200,000	
D 当期支出合計	19,440,000	17,467,544	−1,972,456	
E 当期収支差額(A−D)	0	1,404,483	+1,404,483	
F 次期繰越収支差額(C−D)	8,800,000	11,004,484	+2,204,484	

貸借照対表

2001年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
Ⅰ 資産の部			
1 流動財産			
現金	197,692		
現金(国際奨学)	29,010		
普通預金	3,565,846		
定期預金	5,350,000		
郵便振替	24,000		
金銭信託(国際奨学)	616,690		
普通預金(国際奨学)	1,221,246		
流動資産合計		11,004,484	
2 固定資産			
基本財産			
事業基金	44,600,000		
ホームズ基金	2,000,000		
国際奨学基金	60,000,000		
基本財産合計	106,600,000		
その他の固定資産			
特定預金			
守田科学研究奨励金	23,616,609		
安井医学奨学金	8,016,259		
若手会員育成金	7,849,439		
土地・建物	52,000,000		
什器・備品	500,000		
電話加入権	100,000		
その他の固定資産合計	92,082,307		
固定資産合計		198,682,307	
資産合計			209,686,791
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
Ⅲ 正味財産の部			
正味財産			209,686,791
(うち基本財産)			(106,600,000)
負債及び正味財産合計			209,686,791

○上記の収支決算報告書及び貸借対照表について異議のある方は7月末日までに会長までお申し出ください。

○監査報告　監査の結果、収入・支出ともにすべて正しく記録されており、間違いのないことを証明致します。

平成13年4月5日

監事　藤﨑　久

監事　根岸　愛子

2001年度　社団法人 大学婦人協会予算書

(2001年4月1日から2002年3月31日まで)

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
Ⅰ 収入の部				
1 基本財産運用収入	467,000	813,000	−346,000	
基金口座利息				
事業基金利息	160,000	350,000	−190,000	
ホームズ基金利息	7,000	13,000	−6,000	
国際奨学金基金利息	300,000	450,000	−150,000	
2 入会金収入	100,000	100,000	0	
入会金	100,000	100,000	0	¥1,000×100名
3 会費収入	10,260,000	10,560,000	−300,000	
正会員会費収入	10,200,000	10,500,000	−300,000	¥6,000×1,700口
賛助会員会費収入	60,000	60,000	0	¥6,000×10名
4 補助金収入	1,800,000	2,000,000	−200,000	
国庫補助金収入	1,800,000	2,000,000	−200,000	
5 寄付金収入	2,311,000	2,305,500	+5,500	
会員その他寄付	2,311,000	2,305,500	+5,500	含 東京支部指定寄付10万
6 雑収入	1,457,000	1,491,500	−34,500	
受取利息				
運用財産利息	12,000	20,000	−8,000	
審査手数料	0	10,000	−10,000	
広告料収入	200,000	200,000	0	
総会参加費	690,000	660,000	+30,000	¥3,000×230名
雑収入				
分担金	405,000	398,500	+6,500	
名簿	0	3,000	−3,000	
私用電話他	150,000	200,000	−50,000	
7 特定預金取崩収入	2,170,000	2,170,000	0	
安井医学奨学金	320,000	320,000	0	
守田科学研究奨励金	850,000	850,000	0	
若手会員育成金	1,000,000	1,000,000	0	
A 当期収入合計	18,565,000	19,440,000	−875,000	
B 前期繰越収支差額	10,610,000	8,800,000		
C 収入合計(A+B)	29,175,000	28,240,000		

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
Ⅱ 支出の部				
1 事業費	12,720,000	13,540,000	−820,000	
国庫補助事業	4,000,000	4,200,000	−200,000	
奨学金				
国内奨学金	1,300,000	1,300,000	0	
社会福祉奨学金	400,000	400,000	0	
国際奨学金	300,000	450,000	−150,000	
ホームズ奨学金	100,000	100,000	0	
安井医学奨学金	320,000	320,000	0	奨学金30万、活動費2万
守田科学研究奨励金	850,000	850,000	0	奨励金60万、活動費25万
若手会員育成金	1,000,000	1,000,000	0	
分担金				
IFUW・UWA会費	1,470,000	1,700,000	−230,000	1名につき12SF
IFUW関係連絡費	150,000	150,000	0	
NGOその他	40,000	150,000	−110,000	
助成金				
IFUW寄付金	150,000	200,000	−50,000	ビーナ・ロイPID基金
支部振興費	70,000	70,000	0	
各委員会活動費	650,000	700,000	−50,000	
図書・資料	20,000	50,000	−30,000	
印刷製本費				
名簿発行	0	0	0	
会報発行	1,500,000	1,500,000	0	会報4回
通信運搬費	400,000	400,000	0	
2 管理費	5,725,000	5,600,000	+125,000	
給料・手当他				
給料・夏・冬手当	1,920,000	1,920,000	0	
法定福利費	300,000	40,000	+260,000	社会保険 他
会議費				
総会費	1,600,000	1,500,000	+100,000	
理事会費	30,000	30,000	0	
役員選考委員会費	5,000	0	+5,000	
旅費交通費	80,000	80,000	0	
通信運搬費	250,000	300,000	−50,000	
什器備品費	20,000	40,000	−20,000	
消耗品費	620,000	650,000	−30,000	
印刷製本費	150,000	200,000	−50,000	
負担金	270,000	270,000	0	
光熱水料金	180,000	200,000	−20,000	
諸謝金	120,000	120,000	0	
租税公課	130,000	150,000	−20,000	
雑費	50,000	100,000	−50,000	
3 繰入金支出	0	100,000	−100,000	
事業基金繰入	0	100,000	−100,000	
4 予備費	120,000	200,000	−80,000	
予備費	120,000	200,000	−80,000	
D 当期支出合計	18,565,000	19,440,000	−875,000	
E 当期収入差額(A−D)	0	0		
F 次期繰越収支差額(C−D)	10,610,000	8,800,000		